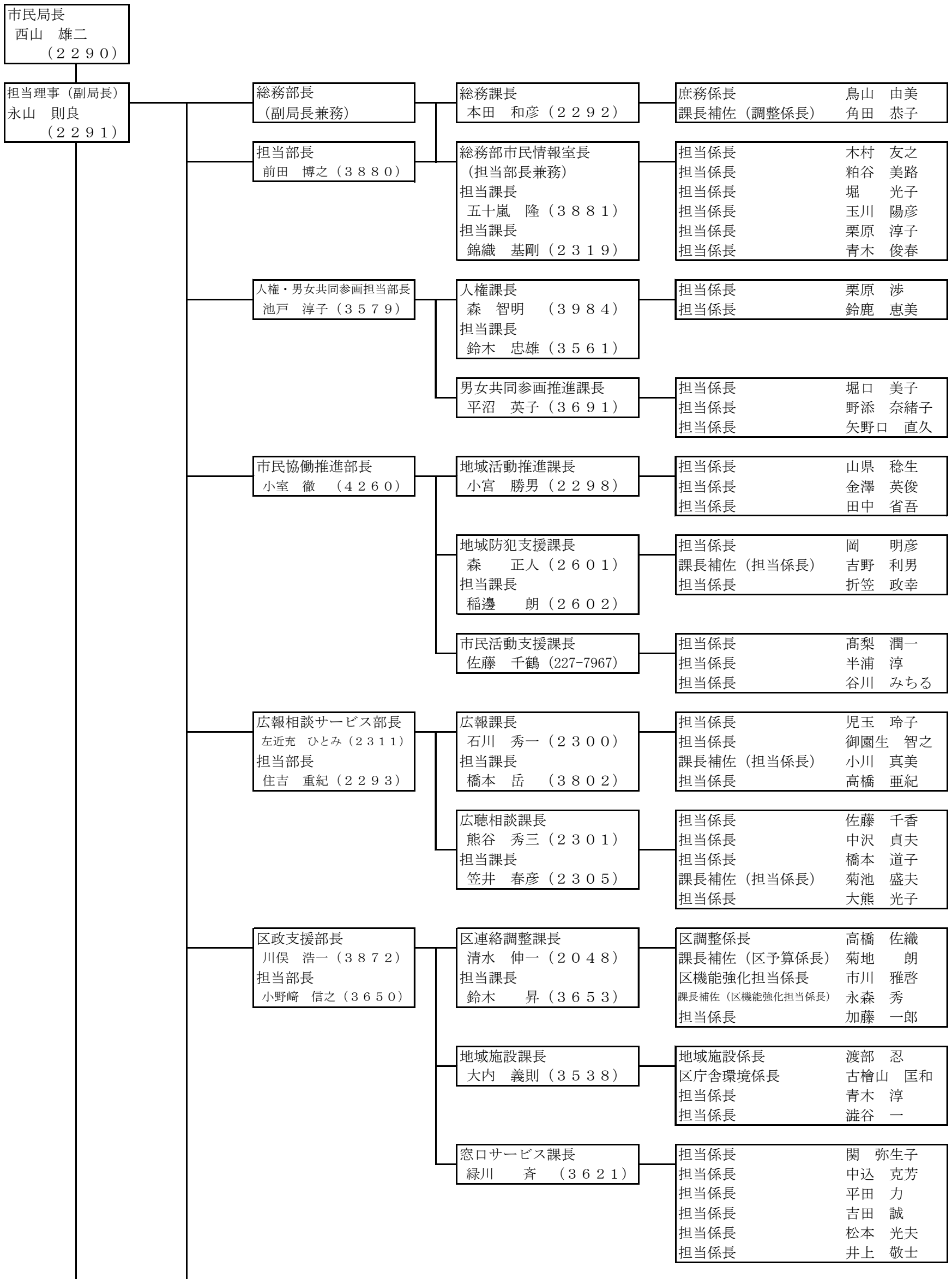


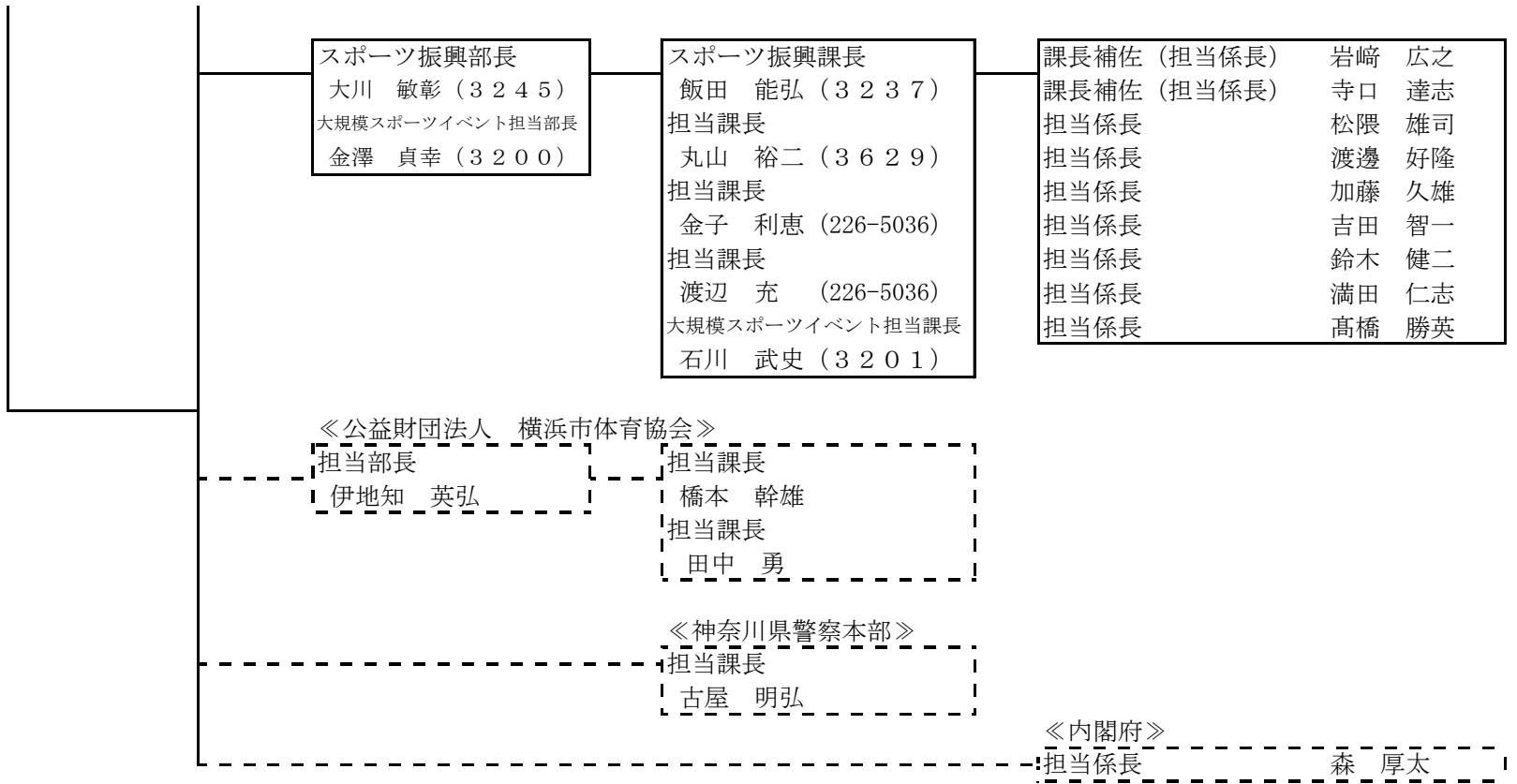
機構及び事務分掌

平成 26 年 5 月 15 日

市 民 局

市民局機構図（平成26年5月15日現在）





(注) 表中、点線で囲まれた部分は、外郭団体等への派遣職員を示します。

市民局事務分掌

総務部

総務課

- (1) 局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- (2) 局内の事務事業の連絡調整に関すること。
- (3) 局の危機管理に関すること。
- (4) 他の部、課、室の主管に属しないこと。

市民情報室

- (1) 情報公開制度に関すること。
- (2) 個人情報の保護に関すること。
- (3) 横浜市情報公開・個人情報保護審査会に関すること。
- (4) 横浜市個人情報保護審議会に関すること。
- (5) 刊行物その他の行政資料等の収集及び保管並びにこれらの情報提供に関すること。
- (6) その他市政情報の公開及び提供に関すること。

人権・男女共同参画担当

人権課

- (1) 人権に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること。
- (2) 人権に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 人権に関する啓発及び研修に関すること(他の局の主管に属するものを除く。)
- (4) 同和対策事業に関すること。
- (5) 犯罪被害者等基本法(平成16年法律第161号)に基づく犯罪被害者等の相談等に関すること。
- (6) 横浜市いじめ問題調査委員会に関すること。

男女共同参画推進課

- (1) 男女共同参画に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること。
- (2) 男女共同参画に関する調査研究及び広報並びに相談に関すること。
- (3) 横浜市男女共同参画審議会に関すること。
- (4) 男女共同参画センターの運営管理に関すること。
- (5) 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会に関すること。

市民協働推進部

地域活動推進課

- (1) 地域活動に関する企画、調査及び調整に関すること。
- (2) 市民自治組織との協働及びその支援に関すること。
- (3) 市民主体の地域運営に関すること。
- (4) その他地域振興に関すること。
- (5) 部内他の課の主管に属しないこと。

地域防犯支援課

- (1) 防犯対策の企画及び連絡調整に関すること。
- (2) 防犯対策の事業の実施に関すること。
- (3) 防犯関係の調査及び資料の収集に関すること。
- (4) 防犯対策に関する関係行政機関及び関係諸団体との連絡調整に関すること。

市民活動支援課

- (1) 市民活動の推進に関すること。
- (2) 協働推進に関する企画、調査及び調整に関すること。
- (3) 特定非営利活動法人の設立、定款変更、合併の認証等に関すること。
- (4) 横浜市市民協働推進委員会に関すること。
- (5) その他協働推進に関すること。

広報相談サービス部

広報課

- (1) 広報に係る企画及び連絡調整に関すること。
- (2) 横浜市広報企画審議会に関すること。
- (3) 広報事項の収集及び編集に関すること。
- (4) 広報印刷物の発行に係る調整、指導、助言等に関すること。
- (5) 部内他の課の主管に属しないこと。

広聴相談課

- (1) 市政に関する市民の要望、意見、陳情その他広聴に関すること。
- (2) 要望事項等の整理及びその実施のため必要な連絡調整に関すること。
- (3) 区民会議の活動の運営協力に関すること。
- (4) 市民の相談に関すること。
- (5) 庁内の案内に関すること。
- (6) 区役所における広聴及び市民の相談に係る事務の連絡調整に関すること。
- (7) 横浜市コールセンターに関すること。

区政支援部

区連絡調整課

- (1) 区政に関する基本的な計画の立案及び進行管理に関すること。
- (2) 区政に関する重要施策の総合的な企画及び調整に関すること。
- (3) 個性ある区づくりの支援に関すること。
- (4) 区政に関する機能の強化に関すること。
- (5) 区役所の人事、組織、文書、予算及び決算の調整に関すること。
- (6) 区長会議等に関すること。
- (7) 区役所の所管区域に関すること。
- (8) 区政に関する事務事業の連絡調整に関すること。
- (9) 福祉保健センターの運営に係る連絡調整に関すること(他の局の主管に属するものを除く。)
- (10) 自衛官募集事務に係る連絡調整に関すること。
- (11) 予算編成等における区の総合行政の実施に係る調整に関すること。
- (12) 部内他の課の主管に属しないこと。

地域施設課

- (1) 区庁舎等の整備に係る計画の立案及び調整に関すること。
- (2) 区庁舎等の利便性の向上に関すること。
- (3) 地区センター等の運営管理に係る企画、調査及び調整に関すること。
- (4) 上郷森の家に関すること。
- (5) 地区センター等の整備に関すること。
- (6) 広場、遊び場等に係る事業の企画及び調整に関すること。

窓口サービス課

- (1) 区役所の市民サービスの向上の推進に係る総合調整に関すること。
- (2) 戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務、特別永住事務等の総括、改善及び指導に関すること。
- (3) 横浜市行政サービスコーナーに関すること。
- (4) 横浜市本人確認情報等保護審議会に関すること。
- (5) 住居表示に関すること。
- (6) 市の区域に関すること。
- (7) 区の区域に関すること(他の課の主管に属するものを除く。)
- (8) 町区域の設定並びに町区域及び字区域の廃止及び変更並びに町名の変更にに関すること。
- (9) 町区域の設定並びに町区域及び字区域の廃止及び変更に伴う地番の整理に関すること。
- (10) 横浜市住居表示審議会に関すること。

スポーツ振興部

スポーツ振興課

- (1) スポーツ・レクリエーション振興施策の総合的な企画、調整及び実施に関すること(他の局の主管に属するものを除く。)
- (2) スポーツ・レクリエーション施設の整備及び運営に関すること(他の局の主管に属するものを除く。)
- (3) スポーツ・レクリエーションイベントの企画、誘致及び開催に関すること(他の局の主管に属するものを除く。)
- (4) 区役所のスポーツ・レクリエーション振興の支援に関すること。
- (5) 公益財団法人横浜市体育協会に関すること。
- (6) 市民スポーツ・レクリエーション関係団体に関すること(他の局の主管に属するものを除く。)
- (7) 横浜市スポーツ推進計画の策定に関すること。
- (8) 横浜市スポーツ推進審議会に関すること(教育委員会の主管に属するものを除く。)
- (9) スポーツ推進委員に関すること。

平成26年度

主要事業の概要

市民局

目 次

ページ

平成26年度市民局事業概要について 5

平成26年度市民局予算総括表 1 1

事業別内訳

【3款1項 市民行政費】

1 市民総務費（3款1項1目） 1 2

- (1) 情報公開推進等事業
- (2) 市民情報センター運営事業
- (3) 個人情報保護推進事業
- (4) 行政文書検索システム運用事業
- (5) 事務管理費等
- (6) 職員人件費

2 人権・男女共同参画費（3款1項2目） 1 3

- (1) 人権施策推進事業
- (2) 犯罪被害者等相談支援事業
- (3) 男女共同参画推進事業
- (4) 男女共同参画センター運営事業

3 広報広聴費（3款1項3目） 1 4

- (1) 「広報よこはま」発行事業
- (2) テレビ・ラジオ広報事業
- (3) インターネット広報事業
- (4) 季刊誌「横濱」協働編集事業
- (5) 「暮らしのガイド」協働編集等事業
- (6) 交通広告活用事業
- (7) PR活動推進事業
- (8) 「県のたより」配布事業
- (9) 広聴事業
- (10) 広聴情報データベースシステム事業
- (11) 市民相談事業
- (12) 横浜市コールセンター事業
- (13) 「庁内報」発行事業等

4 市民協働推進費（3款1項4目）・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

- (1) 元気な地域づくり推進事業
- (2) 協働の「地域づくり大学校」事業
- (3) 地域活動推進費
- (4) 自治会町内会館整備助成事業
- (5) 市民活動保険事業
- (6) 市民協働等推進事業
- (7) 特定非営利活動法人認証等事務
- (8) 市民活動推進事業
- (9) 市民活動推進ファンド事業
- (10) 防犯活動支援事業
- (11) 子ども安全支援事業
- (12) 安全・安心のまちづくり対策パトロール事業
- (13) 繁華街対策事業
- (14) 横浜市防犯協会連合会補助金
- (15) 防犯灯の整備・維持管理

5 スポーツ振興費（3款1項5目）・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

- (1) スポーツ関係団体支援事業
- (2) スポーツ施設等管理運営事業
- (3) スポーツイベント開催等事業
- (4) 市民スポーツ振興事業

【3款2項 地域行政費】

1 個性ある区づくり推進費（3款2項1目）・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

- (1) 自主企画事業費
- (2) 温暖化対策プラス事業
- (3) 区環境未来都市推進事業
- (4) 一般管理費
- (5) 区役所嘱託員経費等

2 戸籍住民登録費（3款2項2目）・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

- (1) 戸籍住民登録事務費等
- (2) 行政サービスコーナー運営事業
- (3) 戸籍システム運用事業
- (4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業
- (5) 住居表示整備等事業
- (6) 魅力ある窓口づくり推進事業
- (7) 住基法・入管法改正対応事業
- (8) 郵送請求事務センター運営事業
- (9) 社会保障・税番号制度対応事業

3 地域施設費（3款2項3目）	24
（1）区庁舎再整備事業	
（2）区庁舎等耐震性強化事業	
（3）旧水道局磯子・金沢地域サービスセンター解体事業	
（4）区庁舎・周辺施設利活用事業	
（5）区庁舎設備等改修事業・賃借料等	
（6）地域施設整備等事業	
（7）上郷・森の家運営事業	
（8）子どもの遊び場等遊具保全事業	
（9）地区センター・公会堂等指定管理者選定事業	

参考資料

平成26年度 区編成予算(自主企画事業)	26
区編成事業区別一覧	26
鶴見区	27
神奈川区	28
西区	29
中区	30
南区	31
港南区	32
保土ヶ谷区	33
旭区	34
磯子区	35
金沢区	36
港北区	37
緑区	38
青葉区	39
都筑区	40
戸塚区	41
栄区	42
泉区	43
瀬谷区	44

この冊子の中での12ページ以降の表記は、以下のとおりです。

【新】は、新規事業
【拡】は、拡充事業

平成 26 年度 市民局事業概要について

予算額の概要

平成 26 年度の市民局の一般会計の予算規模は、400 億 5,029 万円、対前年度 22 億 6,295 万円、6.0%の増となっています。

区 分	平成 26 年度予算額	平成 25 年度予算額	増 減
一般会計	400 億 5,029 万円	377 億 8,734 万円	22 億 6,295 万円(6.0%増)

(内訳は 11 ページの市民局予算総括表を御覧ください。)

予算の重点

平成 26 年度の市民局の一般会計予算は、厳しい財政状況の中、市政運営の基本的な考え方を踏まえ、局運営方針の基本目標「“すべては市民の元気のために” つなぐ つくる まもる」を意識しながら、次に掲げる 5 つの項目を局の重点項目とし、予算編成を行いました。

地域における課題解決に向けた取組の支援や、スポーツによる横浜の活性化、女性による市民力アップなど、新たな中期計画に向けて、取組を進めていきます。

- 1 元気で安全な地域づくり、絆・支え合い、協働の取組の推進
- 2 横浜の魅力・活力を高めるスポーツの振興
- 3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進
- 4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進
- 5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

1 元気で安全な地域づくり、絆・支え合い、協働の取組の推進

地域の絆や支え合いが深まり、いきいきとした地域コミュニティが形成され、地域が主体的に課題解決に取り組めるよう、市民協働の推進、地域活動への支援を行うとともに、区役所の地域支援機能の強化を図ります。また、市民の安全・安心な暮らしが実現できるよう地域防犯環境の整備などを推進します。

(1) 元気な地域づくり推進事業 8,236万円(前年度8,236万円)p.16

身近な地域において、自治会町内会をはじめとする様々な主体が連携して、防災や高齢者の見守り、子育て支援など、課題解決に取り組む地域を全区で広げていくため、区が把握した地域のニーズを踏まえ、区とともに「人材づくり」や「組織づくり」など地域の取組を支援します。

(2) 協働の「地域づくり大学校」事業 新規 900万円 p.16

地域・区役所・中間支援組織(NPO等)が協働して企画・運営する大学校を開講し、地域で活動する区民と区職員が、まち歩きや他区の先行事例研究等を通して共に学ぶ合うことで、「協働による地域づくり」を推進します。

(3) 自治会町内会館の整備助成 拡充 2億3,436万円(前年度1億6,175万円)p.16

自治会町内会館の建替え・改修等の要望に応え、地域活動及び共助による減災の拠点となる自治会町内会館の整備を支援します。

(4) LED防犯灯設置事業 9,000万円(前年度2億2,100万円)p.19

電柱共架タイプの防犯灯の新設及び鋼管ポールタイプの防犯灯の更新等を行います。

また、ESCO事業を活用し、現在電柱に設置されている蛍光灯防犯灯をLED防犯灯に更新(約11.7万灯)することで、防犯環境の整備と温暖化対策等を進めます。(ESCOサービス料は、平成25年12月補正で債務負担行為を設定し、平成27年度より支払いを開始します。)

(5) 個性ある区づくり推進費 自主企画事業費 18億1,348万円(前年度17億1,097万円)p.22

18区役所で地域の課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応しながら、個性ある区づくりを進めます。

2 横浜の魅力・活力を高めるスポーツの振興

平成 25 年 3 月に策定した「横浜市スポーツ推進計画」に基づき、子どもから高齢者まで市民の誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係団体等との連携・協働を進めながら、スポーツ振興を推進します。大規模スポーツイベントの誘致やプロスポーツチームの支援等を行うほか、市民参加型フルマラソン「横浜マラソン 2015」を開催し、横浜の魅力・活力を高めていきます。また、関内駅周辺地区のまちづくりにおけるリーディングプロジェクトとして横浜文化体育館の再整備の検討を行います。さらに、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催決定を契機とした、スポーツ振興を実施します。

(1) 「横浜マラソン」の開催 拡充 1 億円(前年度 3,500 万円) p.21
平成 27 年 3 月 15 日(日)の「横浜マラソン 2015」実施に向けて、市民のスポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティセールス効果が期待できる市民参加型フルマラソン大会となるよう準備を進めます。

(2) 世界トライアスロンシリーズ横浜大会の開催 3,000 万円(前年度 3,000 万円) p.21
平成 26 年 5 月 17 日(土)、18 日(日)に、5 回目となる世界トライアスロンシリーズ横浜大会を山下公園周辺で開催し、スポーツの普及やシティセールスを図ります。
なお、3,000 万円は貸付金で、返還されます。

(3) 大規模スポーツイベント誘致・開催支援事業 2,000 万円(前年度 2,000 万円) p.21
市民の皆様が一流選手のプレーを身近な施設で観戦できる機会を増やすとともに、横浜への集客を促進するため、大規模スポーツイベントを誘致し、開催を支援します。

(4) プロスポーツとの連携と支援 1,000 万円(前年度 1,000 万円) p.21
市民の皆様がプロスポーツに親しむ機会を作りだすとともに、各チームが地域と連携して行う事業を支援します。

(5) 横浜文化体育館再整備基本構想等調査事業 新規 2,000 万円 p.20
築 52 年を経過した横浜文化体育館については、施設の老朽化が進み、機能面でも課題があります。関内駅周辺地区のまちづくりにおけるリーディングプロジェクトとして再整備の検討を行います。

(6) オリンピックを契機としたスポーツ振興事業 新規 650 万円 p.21
2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会開催決定を契機に、オリンピック・パラリンピック出場経験者を招へいしたイベント等を実施し、市内のスポーツ振興とオリンピック気運の盛り上げを図ります。

3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進

区民の皆様の安心と信頼を得られる区役所の窓口となるよう、引き続き満足度向上に向けた取組を進めます。

区の災害対策本部となる区庁舎の耐震補強や建替え再整備等を行うとともに、地域の活動拠点となる市民利用施設の整備に取り組みます。

(1) 区庁舎等の再整備・耐震性強化事業

拡充

61億961万円(前年度38億4,619万円)p.24

区庁舎の再整備や耐震補強工事等を行います。

区庁舎再整備 : 南・港南・金沢(工事)

戸塚(維持管理・運営、旧庁舎解体) 瀬谷(維持管理・運営)

区庁舎等耐震 : 中・緑(工事)

(2) コミュニティハウス整備事業

4,662万円(前年度6,421万円)p.25

地域活動や交流の拠点となる、コミュニティハウスの整備を進めます。

荏田西(実施設計) 常盤台(土地買替)

(3) 郵送請求事務センター運営事業

1億8,608万円(前年度1億1,622万円)p.23

18区役所の戸籍及び住民登録関係証明書に関する郵送請求処理業務を集中化し、民間委託によって行います。

(4) 社会保障・税番号制度対応事業

新規

740万円 p.23

平成27年度以降の施行が予定されている社会保障・税番号制度に対応するため、住民票などの発行に使用している証明発行システムの改修を行います。

4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進

市民一人ひとりが互いに人権を尊重する社会の実現を目指して、市民の皆様や事業者への啓発、職員研修など人権施策を推進します。また、犯罪被害者相談室による相談・支援の実施及び普及啓発に取り組みます。

性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画する社会の実現を目指して、働く女性への支援、働きやすい職場づくりの企業支援、女性に対する暴力防止などに取り組みます。

(1) 犯罪被害者等相談支援事業 273万円(前年度298万円) p.13

平成24年度に開設した犯罪被害者相談室において、犯罪被害者等の相談に応じ、相談者が再び平穏な生活を営めるよう支援します。

また、犯罪被害者等の置かれた状況や心情について、市民の皆様の理解を促進するため、普及啓発活動を実施します。

(2) 男女共同参画推進事業 2,514万円(前年度1,909万円) p.13

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる分野に対等に参画できる社会を目指して、「第3次横浜市男女共同参画行動計画」及び「横浜市DV施策に関する基本方針及び行動計画」に基づき施策を推進します。

〔主な事業〕

働く女性応援プログラム 拡充 938万円(前年度700万円) p.13

企業・行政をはじめ、各界で活躍するトップリーダー等によるセミナー・イベントを実施し、働く女性や女子学生等のキャリア形成や企業間ネットワークづくりを支援します。

また、平成26年度からは新たに就業に関する女性を対象にしたニーズ調査や、市内2か所に、就労に関する「相談機能」を持つ窓口をモデル設置する等、女性の活躍推進に向けた支援の基礎とします。

よこはまグッドバランス賞 192万円(前年度207万円) p.13

女性が活躍し、男女がともに働きやすく子育てや介護がしやすい職場づくりを積極的に進める市内中小事業所等を認定・表彰し、その取組を広く紹介することで、他の事業所への普及啓発を図ります。

女性に対する暴力の根絶に向けた事業

132万円(前年度147万円) p.13

DV基本計画を推進するため、DV施策推進連絡会を開催するとともに、DV相談支援センターの周知や、暴力防止キャンペーンを実施します。

5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

「広報よこはま」、テレビ・ラジオ、インターネット等の広報媒体を活用し、市民の皆様が必要とする市政情報を分かりやすく、正確・確実にお伝えするとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。

また、各種広聴事業を通じて把握した市民ニーズを、市民サービス向上や施策反映につなげます。

さらに、適正で円滑な情報公開を進めるとともに、個人情報保護施策を推進します。

(1) インターネット広報事業 拡充 6,282 万円(前年度 938 万円) p.14
市ウェブサイト为谁にでも使いやすく、分かりやすいものに再構築します。あわせて、政策局・総務局と進めているオープンデータにも対応します。

(2) 「広報よこはま」発行事業 2 億 9,763 万円(前年度 3 億円) p.14
市の基幹的な広報媒体として、毎月 1 日、「広報よこはま」市版を発行し、市の施策や事業について、市民の皆様にお知らせします。

(3) PR 活動推進事業 2,200 万円(前年度 1,000 万円) p.14
新たな広報媒体による広報や、マスメディアに向けたメディアツアーなどのイベントを実施することで、本市全体としての発信力を強化し、積極的に“仕掛ける”広報を行います。

情報発信力の強化 拡充 1,450 万円(前年度 1,000 万円) p.14
マスメディアに向けたメディアツアーなどの広報活動を推進するとともに、市政情報に接する機会の少ない通勤・通学者や市内外に向けた広報も行っていきます。

「広報よこはま」動画版の作成 新規 750 万円 p.14
近年の情報入手手段の多様化に合わせ、「広報よこはま」から記事をピックアップした 5 分の動画番組を作成し、ケーブルテレビや動画サイト等で放送するなど、幅広く、繰り返し発信できる「動画」を活用した広報を強化します。

(4) 横浜市コールセンター事業 2 億 610 万円(前年度 1 億 9,658 万円) p.15
市政や生活情報など多様な問合せを朝 8 時から夜 9 時まで年中無休で受け付けます。また、区役所代表電話の交換業務を代行します。

平成26年度 市民局予算総括表

単位：千円

款 項 目	26年度予算額	25年度予算額	差引増 減	前年比 %	増減の主な理由
3 款 市民費	40,050,291	37,787,337	2,262,954	6.0	
1 項 市民行政費	18,096,020	18,118,968	△22,948	△0.1	
1 目 市民総務費	12,789,032	12,767,526	21,506	0.2	行政文書検索システム運用事業 19,821千円増
2 目 人権・男女共同 参画費	690,426	785,235	△94,809	△12.1	男女共同参画センター横浜ESCO事業 107,167千円
3 目 広報広聴費	954,455	891,223	63,232	7.1	インターネット広報事業 53,446千円増
4 目 市民協働推進費	2,177,661	2,196,434	△18,773	△0.9	自治会町内会館整備助成事業 72,610千円増 LED防犯灯設置事業 131,000千円
5 目 スポーツ振興費	1,484,446	1,478,550	5,896	0.4	「横浜マラソン」開催費 65,000千円増 横浜文化体育館再整備基本構想等調 査事業 20,000千円増 市民利用施設予約システム事業 103,727千円
2 項 地域行政費	21,954,271	19,668,369	2,285,902	11.6	
1 目 個性ある区づくり 推進費	14,370,974	14,040,583	330,391	2.4	自主企画事業費 102,513千円増 一般管理費 326,272千円増
2 目 戸籍住民登録費	1,098,927	1,232,136	△133,209	△10.8	戸籍システム運用事業 107,983千円 住基法・入管法改正対応事業 63,104千円
3 目 地域施設費	6,484,370	4,395,650	2,088,720	47.5	区庁舎再整備事業 1,782,274千円増 区庁舎等耐震強化事業 481,147千円増

事業別内訳

3 款 1 項	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市債	その他	一般財源
市民行政費	千円 18,096,020	千円 18,118,968	千円 △22,948	千円 165,945	千円	千円 153,200	千円 17,776,875

1 市民総務費（3 款 1 項 1 目） 12,789,032 千円 （前年度12,767,526千円）

市政に関する情報公開の推進及び本市が取り扱う個人情報の保護、職員人件費等庶務的経費等に要する経費です。

（1）情報公開推進等事業 8,318千円 （前年度8,957千円）

ア 情報公開請求に対する行政文書の開示を行う情報公開請求制度を円滑、適正に運用するとともに、市政に関する情報の公表・提供や附属機関の会議の公開などを進め、総合的な情報公開を推進します。

イ 個人情報保護の趣旨を踏まえ、個人情報の開示、訂正、利用停止を行う個人情報本人開示等請求制度を運用します。

ウ 行政文書の開示請求や個人情報の本人開示請求等に対する決定についての不服申立てに係る諮問を審議する「横浜市情報公開・個人情報保護審査会」を運営します。

（横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例）

（2）市民情報センター運営事業 14,197千円 （前年度14,595千円）

本市の情報公開の総合窓口として、市政に関する情報を広く提供するとともに、情報公開制度の説明や行政文書の開示請求及び個人情報の本人開示請求の受付、開示等を行う市民情報センターを運営します。また、市政に関する総合的な情報提供の一環として、市民情報センター内の刊行物サービスコーナーにおいて、本市等が作成した刊行物等の有償頒布を行います。

（3）個人情報保護推進事業 3,459千円 （前年度3,102千円）

本市が保有する個人情報の保護について条例所定の事項を審議する「横浜市個人情報保護審議会」や、本市の個人情報取扱事務を外部委員により実地に検査・評価する「横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会」を運営します。また、個人情報に関する市民・事業者からの相談に対応するなど、個人情報保護施策を推進します。

（横浜市個人情報の保護に関する条例）

（4）行政文書検索システム運用事業 30,480千円 （前年度10,659千円）

文書管理・電子申請両システムとの連携により、行政文書の目録情報の検索及び検索した文書の開示請求をホームページ上から常時行えるシステムを運用します。

（5）事務管理費等 3,771千円 （前年度3,771千円）

局全体の円滑な業務執行に資するため、庶務事務等に要する経費を計上するほか職員研修など人材育成を行います。

（6）職員人件費 12,728,807千円 （前年度12,726,442千円）

市民局及び区役所戸籍課等の職員人件費です。

一般職員 1,452 人
再任用職員 157 人

2 人権・男女共同参画費(3款1項2目) **690,426千円** (前年度785,235千円)

人権及び男女共同参画に関する施策の企画・調整及び推進に要する経費です。

(1) 人権施策推進事業 **39,236千円** (前年度39,149千円)

一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現を目指して、人権に関する施策の総合的な企画・調整を行うとともに、人権キャンペーンや講演会、広報よこはま人権特集ページの作成等の人権啓発事業及び職員の人権啓発研修等を推進します。

(2) 犯罪被害者等相談支援事業 **2,727千円** (前年度2,984千円)

平成24年度に開設した犯罪被害者相談室において、犯罪被害者等の相談に応じ、相談者が再び平穏な生活を営めるよう支援します。

また、犯罪被害者等が置かれた状況や心情について、市民の皆様の理解を促進するため、普及啓発活動を実施します。

(3) 男女共同参画推進事業 **25,139千円** (前年度19,091千円)

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる分野に対等に参画できる社会を目指して、「第3次横浜市男女共同参画行動計画」及び「横浜市DV施策に関する基本方針及び行動計画」に基づき、施策を総合的かつ計画的に推進します。

働く女性応援プログラムとして、働く女性や女子学生を対象としたキャリア形成セミナー、働く女性のネットワークづくりを進めるとともに、新たに就業に関する女性のニーズ基礎調査等を実施します。また、国際会議等の機会をとらえ、トップによる発信及び国際連携を図ります。

さらに、「よこはまグッドバランス賞」による企業支援や、男女共同参画の推進事例を広く紹介する「男女共同参画貢献表彰」、女性に対する暴力の根絶に向けた事業のほか、庁内における男女共同参画を推進します。

ア 行動計画の推進等	9,996千円
イ 働く女性応援プログラム【拡】	9,384千円
ウ 女性の社会進出に関する国際的な発信	1,870千円
エ よこはまグッドバランス賞 ～働きやすく、子育てしやすい横浜の企業支援～	1,915千円
オ 男女共同参画貢献表彰	598千円
カ 女性に対する暴力の根絶に向けた事業	1,319千円
キ 庁内の男女共同参画推進事業	57千円

(4) 男女共同参画センター運営事業 **623,324千円** (前年度717,415千円)

市内に3館ある男女共同参画センターを拠点として、女性の社会参画や自立に向けた支援、男性の地域活動や子育てへの参画など、男女共同参画社会の形成を目指した具体的な事業や、市民の自主的な活動の支援を指定管理者制度のもと、展開します。また、平成26年度は、男女共同参画センター横浜におけるE S C O事業実施に伴うサービスの支払い、及び次期指定管理者の選定を行います。

ア 男女共同参画センター運営費	549,733千円
イ 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会補助金	72,544千円
ウ 男女共同参画センター横浜E S C O事業	725千円
エ 指定管理者選定評価委員会	322千円

3 広報広聴費(3款1項3目) 954,455 千円 (前年度891,223千円)

広報・広聴相談事業等に要する経費です。

各広報媒体を効果的に活用し、市民の皆様が必要とする市政情報を分かりやすく、正確・確実にお伝えするとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。

また、市民ニーズを把握する広聴事業や、市民の皆様からの問い合わせに対応するサービスを行う横浜市コールセンター事業など、様々な広報・広聴事業を展開します。

(1) 「広報よこはま」発行事業 297,632千円 (前年度300,000千円)

本市の施策、事業等を市民の皆様にも周知するための市の基幹的な広報媒体として「広報よこはま」市版を毎月1日に発行し、各世帯へ配布します。

(2) テレビ・ラジオ広報事業 123,299千円 (前年度121,918千円)

市政課題や生活情報をわかりやすく伝え、市の魅力を市内外に向け発信するため、テレビ・ラジオによる市政広報番組を毎週放送します。

(3) インターネット広報事業【拡】 62,822千円 (前年度9,376千円)

市ウェブサイトを誰にでも使いやすく、分かりやすいものに再構築します。併せて、政策局・総務局と進めているオープンデータにも対応します。

(4) 季刊誌「横濱」協働編集事業 6,520千円 (前年度4,578千円)

横浜のさまざまな魅力を市内外に発信し郷土意識を醸成すること、また、横浜の文化・歴史・自然などを記録・保存していくことを目的として、季刊誌「横濱」を民間事業者と協働で編集し、有償販売します。

(5) 「暮らしのガイド」協働編集等事業 9,172千円 (前年度9,299千円)

日常生活にかかわりのある市の制度、窓口、施設などの行政情報と、民間情報を合わせて掲載した生活情報誌「暮らしのガイド」を民間事業者と協働で編集し、転入者・希望者に配布します。また、外国人向けの情報発信に有効である「やさしい日本語」の基準を作成します。

(6) 交通広告活用事業 13,933千円 (前年度13,726千円)

電車の広告枠を活用し、横浜の魅力や本市の重要施策を市内外に広報します。

(7) PR活動推進事業 22,000千円 (前年度10,000千円)

新たな広報媒体による広報や、マスメディアに向けたメディアツアーなどのイベントを実施することで、本市全体としての発信力を強化し、積極的に“仕掛ける”広報を行います。また、情報入手手段の多様化に合わせ、幅広く、繰り返し発信できる「動画」を活用した広報を強化します。

ア 情報発信力の強化【拡】 14,500千円 (前年度10,000千円)

マスメディアに向けたメディアツアーなど広報活動を推進するとともに、市政情報に接する機会の少ない通勤・通学者や市内外に向けた広報も行っていきます。

イ 「広報よこはま」動画版の作成【新】 7,500千円

近年の情報入手手段の多様化に合わせ、「広報よこはま」から記事をピックアップした5分の動画番組を作成し、ケーブルテレビや動画サイト等で放送するなど、幅広く、繰り返し発信できる「動画」を活用した広報を強化します。

- (8) 「**県のため**」配布事業 128,640千円 (前年度129,600千円)
県の依頼を受けて「**県のため**」を配布します。
- (9) 広聴事業 3,927千円 (前年度4,053千円)
「市民からの提案」や「ぬくもりトーク」、「ティー・ミーティング～ようこそ市長室へ～」などの各種広聴事業を通じて市民の声を幅広く受け止め、市政に反映します。
- (10) 広聴情報データベースシステム事業 6,943千円 (前年度8,023千円)
寄せられた市民の声を整理し、情報共有するために広聴情報データベースシステムを運用します。
- (11) 市民相談事業 46,916千円 (前年度46,380千円)
市政相談をはじめ、弁護士、司法書士、交通事故相談員等の専門相談員による相談を実施します。また、市民向けに法律知識の普及を図るため、市民法律講座を実施します。
- (12) 横浜市コールセンター事業 206,098千円 (前年度196,579千円)
市役所や区役所の各種手続、イベント、施設等の市政情報や生活情報など市民の皆様からの様々な問合せに、朝8時から夜9時まで年中無休で対応する横浜市コールセンター事業を実施します。また、区役所代表電話の交換業務を代行します。
- (13) 「**庁内報**」発行事業等 26,553千円 (前年度29,291千円)
「**庁内報**」発行経費及び広報・広聴事務費

4 市民協働推進費(3款1項4目) 2,177,661千円 (前年度2,196,434千円)

協働の取組の推進、地域活動や市民公益活動の活性化、及び地域防犯力の向上に向けた支援に要する経費です。

(1) 元気な地域づくり推進事業 82,364千円 (前年度82,364千円)

身近な地域において、自治会町内会をはじめとした様々な主体が連携・協働して、防災や高齢者の見守り、子育て支援など、課題解決に取り組む地域を全区で広げていくため、区が把握した地域のニーズを踏まえ、区とともに「人材づくり」や「組織づくり」など地域の取組を支援します。

ア 「人材づくり」に関する主な事業

- ・講座や活動発表会などによる地域活動を担う人材の発掘、育成
- ・他の地域の参考となる活動事例の紹介や、地域の人材情報の提供 等

イ 「組織づくり」に関する主な事業

- ・地域運営補助金を活用した課題解決の取組の支援
- ・地域まちづくりコーディネーターの派遣によるアドバイス 等

(2) 協働の「地域づくり大学校」事業【新】 9,000千円

地域・区役所・中間支援組織(NPO等)が協働して企画・運営する大学校を開講し、地域で活動する区民と区職員が、まち歩きや他区の先行事例研究等を通して共に学び合うことで、「協働による地域づくり」を推進します。(9区)

(3) 地域活動推進費 1,157,129千円 (前年度1,157,129千円)

ア 自治会町内会活動への支援

自治会町内会・地区連合町内会が実施する公益的活動の経費の一部(補助率1/3、上限あり)を補助します。

また、市町内会連合会・区連合町内会の運営補助及び加入案内などの事業に対する支援を行います。

イ 自治会町内会加入・活性化促進事業

市町内会連合会とともに加入促進PR活動や地域活動の実例紹介等について取り組み、自治会町内会活動への参加者の増加を目指します。

(4) 自治会町内会館整備助成事業【拡】 234,360千円 (前年度161,750千円)

自治会町内会が整備する会館の建設費の一部(補助率1/2、上限あり)を補助します。

また、共助による減災に向けた取組の拠点となる自治会町内会館の耐震化を目的とした建替え及び改修に助成します。

ア 自治会町内会館整備助成事業

234,360千円

うち耐震化を目的とした整備に対する助成 (156,160千円 前年度 86,880千円)

イ 補助の種類及び予定件数

(ア) 新築・建替え 14件 (11件)

(イ) 増築・改修 8件 (5件)

(ウ) 修繕 28件

()内は内数で耐震化を目的とした整備に対する助成予定件数

(5) 市民活動保険事業 **16,500千円** (前年度16,500千円)

市民の皆様が安心してボランティア活動ができるよう、市民活動保険事業を実施します。

(6) 市民協働等推進事業 **4,000千円** (前年度5,000千円)

「絆・支え合い条例」、「市民協働条例」の趣旨を踏まえ、市民の皆様などからの相談に広く対応できる中間支援組織の支援や、シンポジウム等の実施など、市民の皆様との絆づくり、支え合いや協働を進めます。

ア 市民協働等推進事業

市民活動支援・相談窓口の設置やシンポジウム等の実施を行います。

イ 横浜市市民協働推進委員会

市民協働の推進に関する必要な事項を審議します。

ウ 災害ボランティア支援事業

災害時におけるボランティアの受け入れ、派遣、情報の収集が円滑に行えるよう、「横浜災害ボランティアネットワーク会議」が実施する事業に対して負担金を交付します。

(7) 特定非営利活動法人認証等事務 **11,735千円** (前年度13,015千円)

特定非営利活動促進法（NPO法）に基づく事務について、特定非営利活動法人の設立認証、認定・仮認定、指定に関する事務を行うとともに、定款変更や事業報告書等の受理などを行います。

(8) 市民活動推進事業 **103,761千円** (前年度82,149千円)

市民協働の推進、市民公益活動の活性化のため、横浜市市民活動支援センター事業、区版市民活動支援センター事業を行います。

ア 横浜市市民活動支援センター事業

協働契約（委託型）により、市民公益活動に関する相談対応、情報発信・収集、活動場所・作業場の提供、講座・イベントの開催、区版市民活動支援センターの運営支援などを行う運営事業と、横浜市との協働契約（補助型）により、市民公益活動の活性化に関する事業を行う自主事業を実施します。

イ 区版市民活動支援センター支援事業

各区の市民活動支援センターと区関係部署、横浜市市民活動支援センターが連携・協力し、地域の課題解決にかかる事業を実施します。また、西区においては、市民活動支援センターの民営化を実施します。

(9) 市民活動推進ファンド事業**30,264千円**

(前年度25,252千円)

市民の皆様や企業等から寄附を募り、市民活動推進基金(よこはま夢ファンド)に積み立て、市民活動団体の運営における資金面等での支援を行います。

ア 市民活動推進ファンド

あらかじめ登録したNPO法人に助成などの支援を行います。

イ 市民活動団体運営支援講座

市民活動団体への運営支援として税務・労務等に関わる講座を実施します。

(10) 防犯活動支援事業**4,774千円**

(前年度4,218千円)

地域における犯罪の防止や防犯意識の向上を図るため、各区の実情に応じて予算配付を行い、地域防犯力の向上を支援します。また、市域での犯罪発生の実態に応じて、神奈川県警察等と連携し啓発活動等を実施します。

ア 地域防犯啓発事業支援

2,880千円

イ 緊急防犯対策事業

858千円

ウ 安全・安心ハンドブック更新

650千円

エ 事務費

386千円

(11) 子ども安全支援事業**1,503千円**

(前年度1,670千円)

民間企業等(子ども110番の家・車・駅等)との「子どもの安全ネットワーク会議」の開催や、「横浜市子どもの安全の日」における広報・啓発活動の実施などにより、地域における子どもの見守り活動への理解を深めるなど、子どもの安全対策を推進します。

ア 「横浜市子どもの安全の日」推進事業

1,411千円

イ 「子どもの安全ネットワーク会議」の開催等

92千円

(12) 安全・安心のまちづくり対策パトロール事業**22,880千円**

(前年度23,269千円)

地域、区役所、県警察などと連携を図りながら、事件等が多発している地域等を対象に青色回転灯を装着した車両によるパトロールを実施します。また、併せて地域の防犯意識高揚のための広報・啓発活動なども行います。

(13) 繁華街対策事業**2,599千円**

(前年度2,099千円)

初黄・日ノ出町など市内の繁華街に対し、県警察・地域・関係機関と連携した防犯対策を推進します。

(14) 横浜市防犯協会連合会補助金**3,701千円**

(前年度3,701千円)

各防犯協会・協力会が実施している防犯諸活動が、活発かつ円滑に推進できるよう横浜市防犯協会連合会へ補助金を交付します。

(15) 防犯灯の整備・維持管理**493,091千円**

(前年度618,318千円)

現在自治会町内会が維持管理している蛍光灯防犯灯を、より少ないコストで蛍光灯以上の明るさを確保できるLED防犯灯に更新し、防犯環境の整備と地球温暖化防止施策を進めるとともに、防犯灯の維持管理に対する自治会町内会の負担軽減を図ります。

また、自治会町内会が所有する蛍光灯防犯灯の維持管理費について補助金を交付するとともに、横浜市が所有するLED防犯灯約3.9万灯の電気料金を支出します。

ア 防犯灯維持管理事業	403,091千円
(ア)市の所有する防犯灯電気料	77,745千円
(イ)防犯灯維持管理費補助金	324,393千円
(ウ)その他経費	953千円
イ LED防犯灯設置事業	90,000千円
(ア)電柱共架タイプ新設1,000灯	90,000千円
鋼管ポールタイプ70灯 他	
(イ)ESCO事業(電柱共架タイプ) 11.7万灯	0千円
	(平成27年度より支出開始)

5 スポーツ振興費(3款1項5目) 1,484,446 千円 (前年度1,478,550千円)

子どもから高齢者まで市民誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係諸団体や市民との連携・協働を進めながら、身近な場所で気軽にスポーツが行える環境を整えていきます。

そのために、体育館やプール等スポーツ施設の管理運営、イベントの企画・開催、情報の収集・発信や人材の養成など各種事業を実施するとともに、子どもの体力向上にも取り組みます。また、世界のトップレベルの選手による競技大会の開催を通じて、横浜の発信力を高めていきます。

(1) スポーツ関係団体支援事業 611,077千円
(前年度592,768千円)

関係諸団体との連携・協働の下に市民スポーツの普及・振興を図るため、地域レベルでの活動を支援するとともに、運営費の一部を補助します。

ア 公益財団法人横浜市体育協会補助金	610,277千円
イ 横浜市婦人スポーツ団体連絡協議会補助金	800千円

(2) スポーツ施設等管理運営事業 644,221千円
(前年度730,068千円)

横浜国際プール、横浜文化体育館、平沼記念体育館等の管理運営を行うとともに、各区スポーツセンターや屋内・屋外プール等の保守点検及び修繕工事を行うほか、平成25年度に更新した市民利用施設予約システムの運用を行います。

また、築52年を経過した横浜文化体育館については、施設の老朽化が進み、機能面でも課題があるため、関内駅周辺地区のまちづくりにおけるリーディングプロジェクトとして再整備の検討を行います。

ア 横浜国際プール管理運営費	359,794千円
イ 横浜文化体育館管理運営費	70,347千円
ウ 平沼記念体育館管理運営費	27,402千円
エ 施設・設備維持修繕費等	105,901千円
オ 市民利用施設予約システム事業費	48,957千円
カ プール見直し事業費	11,820千円
キ 横浜文化体育館再整備基本構想等調査事業【新】	20,000千円

(3) スポーツイベント開催等事業 182,300千円
(前年度118,220千円)

市民自らがスポーツに参加する機会の提供や、大都市・横浜にふさわしい質の高いスポーツイベントの開催支援、横浜市内に本拠を置くプロスポーツチームに対する支援を行います。これらを通し市民のスポーツに対する理解と関心の向上を図るとともに、市民の一体感の醸成やシティ・セールスの推進を図ります。

また、市民の皆様から要望をいただいております市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」を平成27年3月に開催します。

ア	市民参加スポーツイベント等開催事業費	16,020千円
	(ア)横浜市民体育大会(通年)	2,200千円
	(イ)よこはまこどもマリンスクール(通年)	890千円
	(ウ)都市間交流スポーツ大会(7月)	1,900千円
	(エ)YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ(7・8月)	2,500千円
	(オ)横浜元気!!スポーツ・レクリエーション フェスティバル(9~11月)	4,000千円
	(カ)横浜シーサイドトライアスロン大会(9月)	2,000千円
	(キ)横浜スポーツ表彰	1,000千円
	(ク)その他スポーツイベント開催費等	1,530千円
イ	観戦型スポーツイベント等開催事業費	56,280千円
	(ア)世界トライアスロンシリーズ横浜大会(5月)	30,000千円(貸付金)
	(イ)全日本ジュニア体操競技選手権大会(8月)	1,000千円
	(ウ)全日本少年軟式野球大会(8月)	4,200千円
	(エ)大規模スポーツイベント誘致・開催支援事業	20,000千円
	a 皇后盃全日本女子柔道選手権大会(4月)	
	b ジャパンオープン・荻村杯(6月)	
	c 日本学生選手権水泳競技大会競泳競技(9月)	
	(オ)表敬等その他事業費	1,080千円
ウ	プロスポーツ支援事業費	10,000千円
エ	「横浜マラソン」開催費【拡】	100,000千円

(4) 市民スポーツ振興事業

46,848千円

(前年度37,494千円)

市民が身近な場所でスポーツに親しむことのできる環境づくりを通じて生涯スポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの設立・運営に対する支援やヨコハマさわやかスポーツの普及・振興を進めるとともに、スポーツ指導者の養成やスポーツ推進委員に対する支援に取り組みます。

また、子どもの体力向上に取り組むとともに、一貫したシステムによるジュニア選手の発掘・育成・強化を図るほか、スポーツを通じた各国市民との交流・親善を深めます。

このほか、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催決定を契機として、さらなる市民スポーツ振興のために、オリンピック・パラリンピック出場経験者を講師としたスポーツ教室等を行います。

ア	地域スポーツ支援事業費	17,491千円
	(ア)総合型地域スポーツクラブ支援費	4,650千円
	(イ)ヨコハマさわやかスポーツ普及事業	6,800千円
	(ウ)人材養成・活用事業	4,700千円
	(エ)子どもの体力向上事業	1,200千円
	(オ)連絡調整費等	141千円
イ	スポーツ推進委員支援費	9,503千円
ウ	スポーツ推進審議会費	683千円
エ	ジュニア競技力向上事業費	7,559千円
オ	スポーツ国際交流事業費	4,352千円
カ	JOCパートナー都市協定事業費	760千円
キ	オリンピックを契機としたスポーツ振興事業【新】	6,500千円

3款2項 地域行政費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	21,954,271	19,668,369	2,285,902	71,193	3,996,000	2,026,442	15,860,636

1 個性ある区づくり推進費(3款2項1目) 14,370,974 千円 (前年度14,040,583千円)

身近な市民サービスの拠点である区役所が、区庁舎・区民利用施設の管理運営や、地域の特性やニーズに応じて個性ある区づくりを推進するための経費です。

平成26年度においては、事業内容の見直しや経費の縮減にも取り組みながら、地域と協働して課題の解決を進められるよう、各区の特性に応じた様々な事業を展開します。

(1) 自主企画事業費 [614事業] 1,813,480千円 (前年度1,710,967千円)

地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費

区局連携事業 (事業所管局計上) (38,555千円) (前年度29,516千円)
 区の財源を活用し、区と局が連携しながら地域課題の解決に取り組む「区局連携事業」は、事業所管局に予算計上

(2) 温暖化対策プラス事業 2,166千円 (前年度70,488千円)

区役所や地域における温暖化対策の取組を推進するための事業費

(3) 区環境未来都市推進事業 15,000千円 (前年度7,000千円)

区が地域特性を生かした事業を提案し、環境未来都市計画を推進するための事業費

(4) 一般管理費 10,512,347千円 (前年度10,186,075千円)

局が定めた一定の条件に基づいて執行する事務費(統合事務費) 422,655千円

区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費(区庁舎・区民利用施設管理費) 10,089,692千円

(単位:千円)

施設の種 類 等	予 算 額	備 考
区庁舎等	1,879,189	総合庁舎(18)行政サビスコナ(13)
区版市民活動支援センター	146,129	18か所
土木事務所	135,564	18か所
公会堂	511,669	18か所 (13館指定管理者導入)
地区センター等	3,069,995	地区センター(80)集会所(5)ｽｰｯ会館(11)
コミュニティハウス	1,164,274	115か所
老人福祉センター等	899,802	老人福祉センター(18)老人憩いの家(4)
区スポーツセンター	771,206	18か所
区民文化センター	1,109,454	9か所
こどもログハウス	140,424	18か所
区庁舎・区民利用施設修繕費	114,227	
その他(広場・遊び場等)	147,759	
合 計	10,089,692	

(5) 区役所嘱託員経費等 2,027,981千円 (前年度2,066,053千円)

区役所の嘱託員経費、アルバイト経費等

2 戸籍住民登録費(3款2項2目) 1,098,927 千円 (前年度1,232,136千円)

戸籍住民登録事務、行政サービスコーナーの運営、戸籍システム運用、住居表示整備等の事業を円滑に実施していくとともに、第二・第四土曜開庁や引っ越しシーズンの窓口繁忙時の区役所窓口の支援など、よりよい窓口サービスを実現していきます。

- (1) 戸籍住民登録事務費等 **392,474千円** (前年度441,014千円)
戸籍住民登録事務、印鑑証明事務などのほか、証明発行窓口の運営も含めた区役所戸籍課で行う業務を、円滑に実施するための支援を行います。
- (2) 行政サービスコーナー運営事業 **19,928千円** (前年度18,785千円)
市内13か所の行政サービスコーナーを運営します。
- (3) 戸籍システム運用事業 **147,644千円** (前年度255,627千円)
戸籍システムの稼働状況監視や障害対応等の運用支援作業、また機器やソフトウェアの保守作業を行い、安定運用を図ります。
- (4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業 **213,728千円** (前年度210,893千円)
区で受け付けた届出書の内容について戸籍システムへの入力作業等を行う、戸籍システム関連業務支援拠点の運営を、引き続き民間委託によって行います。
- (5) 住居表示整備等事業 **22,502千円** (前年度16,847千円)
住所を分かりやすくするため、町の区域を整理し、住所の表示を改めます。
泉区和泉町第三次地区について住居表示を実施します。
- (6) 魅力ある窓口づくり推進事業 **4,275千円** (前年度4,750千円)
区役所窓口のお客様満足度の向上に向けて、区と連携した窓口サービス向上研修、区役所窓口サービス調査などに取り組みます。
- (7) 住基法・入管法改正対応事業 **104,896千円** (前年度168,000千円)
平成25年7月8日に外国人住民の方の住民基本台帳ネットワークシステムへの情報登録や住民票コード通知等を進めるとともに、システム改修や事務準備作業等を実施しました。今後は、法改正に併せて整備した証明発行システムの改修を引き続き行います。
- (8) 郵送請求事務センター運営事業 **186,084千円** (前年度116,220千円)
18区役所の戸籍及び住民登録関係証明書に関する郵送請求処理業務を集中化し、民間委託によって行います。
- (9) 社会保障・税番号制度対応事業【新】 **7,396千円**
平成27年度以降の施行が予定されている社会保障・税番号制度に対応するため、証明発行システムの改修を行います。

3 地域施設費(3款2項3目) 6,484,370 千円 (前年度4,395,650千円)

区庁舎等の庁舎施設及び地区センター等の市民利用施設の整備・改修に要する経費です。

- (1) 区庁舎再整備事業 4,813,129千円 (前年度3,030,855千円)
主に耐震補強が必要とされ、補強工事の実施が困難な区庁舎について、移転整備を行います。
- ア 南区総合庁舎 1,697,756千円
旧市大浦舟校舎跡地への移転建替えに向け、工事を行います。
- イ 港南区総合庁舎 1,010,073千円
行政機能用地を活用した移転建替えに向け、工事を行います。
- ウ 金沢区総合庁舎 595,830千円
現在地における建替えに向け、工事を行います。
- エ 戸塚区総合庁舎(平成24年度しゅん工) 789,230千円
PFI事業契約に基づく設計・建設、維持管理・運営などのサービス対価の支払を行います。
また、旧庁舎の解体工事を行います。
- オ 瀬谷区総合庁舎(平成24年度しゅん工) 720,240千円
PFI事業契約に基づく設計・建設、維持管理・運営などのサービス対価の支払を行います。
- (2) 区庁舎等耐震性強化事業 1,296,477千円 (前年度815,330千円)
耐震診断の結果、補強が必要とされた区庁舎の耐震補強を行います。
- ア 中区庁舎 745,719千円
旧労働基準局を耐震補強の上、中區別館として利用するための工事を行います。
- イ 緑区総合庁舎 549,758千円
耐震補強工事に着手します。
また、市民活動支援センターの工事及び仮設庁舎の工事を行います。
- ウ その他(事務費) 1,000千円
- (3) 旧水道局磯子・金沢地域サービスセンター解体事業【新】 52,641千円
磯子区にある旧水道局磯子・金沢地域サービスセンターの解体工事を行います。
- (4) 区庁舎・周辺施設利活用事業【新】 29,522千円
神奈川区総合庁舎及び西区総合庁舎から水道局地域サービスセンターが移転した跡床を区役所で活用するための移転、改修設計などを行います。
- (5) 区庁舎設備等改修事業・賃借料等 93,534千円 (前年度19,380千円)
区庁舎、公会堂、土木事務所の利便性の向上、環境整備のため、機能向上等を行います。
- ア 区庁舎駐車場改善事業 22,490千円
区庁舎、区庁舎駐車場等の施設改善等を行います。
- イ 栄公会堂E S C O事業(長寿命化対策) 61,319千円
栄公会堂の設備改修(民間のノウハウを活用したE S C O事業)
- ウ 床・建物賃借料等 9,725千円
鶴見区総合庁舎内の旧県税事務所の床、及び都筑土木事務所の作業所として活用している仮設建物を賃借します。

(6) 地域施設整備等事業 **84,723千円** (前年度251,373千円)
市民の皆様の様々な地域活動や交流の拠点となる施設として、コミュニティハウスの整備等を行います。

- | | | | |
|---|---|-------|----------|
| ア | 荇田西コミュニティハウス(仮称)
実施設計を行います。《公共用地を活用した整備》 | 青葉区 | 4,906千円 |
| イ | 常盤台コミュニティハウス(平成21年10月開館)
土地の買替を行います。 | 保土ヶ谷区 | 41,717千円 |
| ウ | 都田地区センター(仮称)
都筑区都田方面への新設整備について、検討を行います。 | 都筑区 | 100千円 |
| エ | その他
地区センター等事務システムの更新を行います。 | | 38,000千円 |

(7) 上郷・森の家運営事業 **110,642千円** (前年度104,925千円)
市民の皆様の宿泊や小学生の体験学習等に活用している栄区の「上郷・森の家」の運営を行います。

(8) 子どもの遊び場等遊具保全事業 **2,612千円** (前年度2,612千円)
遊具等の予防保全を行います。

(9) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業 **1,090千円** (前年度2,175千円)
指定管理者の選定作業を行います。

IV 参考資料

平成26年度 区編成事業区別一覧

(単位:千円)

区名	個性ある区づくり推進費							元気な地域づくり推進事業 予算額	頁
	自主企画事業費		温暖化対策プラス事業(上段) 区環境未来都市推進事業(下段)		区局連携事業				
	予算額	事業数	予算額	事業数	予算額	事業数	所管局		
鶴見	111,391	40						4,652	27
			1,000	1					
神奈川	105,888	30						4,476	28
西	94,370	39						3,176	29
中	93,061	30			13,791	2	健康福祉局 教育委員会 事務局	4,750	30
南	91,045	17			4,014	2	道路局 教育委員会 事務局	5,090	31
港南	106,797	34						4,610	32
保土ヶ谷	103,205	41			5,000	1	道路局	4,566	33
			2,500	1					
旭	101,462	37			4,300	1	教育委員会 事務局	5,310	34
磯子	97,125	34						5,904	35
金沢	102,770	39			4,450	3	政策局 都市整備局 教育委員会 事務局	5,268	36
			4,500	1					
港北	105,296	43						4,592	37
			2,500	1					
緑	96,407	36						4,788	38
			1,500	1					
青葉	108,965	42						4,800	39
			2,166	1					
都筑	105,468	40						3,100	40
戸塚	95,194	39			7,000	1	教育委員会 事務局	4,020	41
			1,500	1					
栄	102,561	12						4,990	42
			1,500	1					
泉	98,583	41						3,670	43
瀬谷	93,892	20						4,004	44
計	1,813,480	614	2,166	1	38,555	10		81,766	
			15,000	7					

- ・「温暖化対策プラス事業」(上段)、「区環境未来都市推進事業」(下段)は、区が事業提案し、温暖化対策統括本部の財源を活用して実施する事業。ともに、予算は個性ある区づくり推進費に計上。
- ・「区局連携事業」は、個性ある区づくり推進費の財源を活用し、区と局が連携して行う事業。事業所管局に予算計上。
- ・「元気な地域づくり推進事業」は、地域の特性に応じて区が事業提案し、市民局予算を用いて実施する事業。

予算編成の考え方

～笑顔と元気の輪が広がるまち「つるみ」を目指して～

鶴見区では、区民の皆様との協働による地域の課題解決に取り組むことにより、「安心」、「ぬくもり」、「活力」を実感できるまちづくりを推進し、笑顔と元気の輪が広がるまち「つるみ」の実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 **合計: 111,391千円**

1 「安心」のまちづくり **31,531千円**

地域の減災や防災力の向上に寄与する自助・共助の取組を積極的に支援することなどにより、災害に強いまちづくりを進めます。また、脱温暖化やごみの減量化など、快適な環境づくりを進めます。

《主な事業》防災活動推進事業、放置自転車対策事業、つるみクリーンタウン事業、鶴見区防犯活動支援事業

2 「ぬくもり」のまちづくり **49,386千円**

身近な地域での子育て支援や健康づくりなどの取組をより充実させることにより、誰もが健康で暮らしやすい福祉のまちづくりを進めます。また、市民サービスの最前線である区役所として、より丁寧な窓口対応を心掛け、おもてなしの気持ちあふれる区役所づくりを進めます。

《主な事業》ヘルスアッププラン、マイ保育園事業、鶴見・あいねっと推進事業、
「広げよう見守りの輪」推進事業

3 「活力」あるまちづくり **30,474千円**

国際化が進展する中で、多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる、多文化共生のまちづくりを進めます。また、「千客万来つるみ」など、鶴見の魅力を生かしたまちづくりを進め、その魅力を内外に発信することにより、より一層のまちの活性化を目指します。

《主な事業》「千客万来つるみ」プロモーション事業、つるみ・地域の課題解決サポート事業
多文化のまち・つるみ推進事業

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】 **1,000千円**

鶴見駅周辺活性化事業

関係局事業と連携し、鶴見駅や旧東海道周辺を活性化させるアートイベントを実施し、鶴見区への集客力を高めるとともに、区民の区への愛着を醸成します。

【元気な地域づくり推進事業】 **合計: 4,652千円**

地域の実情に応じたまちづくりを推進するため、幅広い分野の地域課題の解決に向けた地域主体の取組に対し、活動資金の助成や地域活動支援アドバイザーの派遣などを通じて支援します。

予算編成の考え方

「つながり」「安心」「温かさ」を実感できるまち「神奈川県」を目指します！

共感と信頼の区政運営を基本として、地域の自主的な活動団体や企業、商店街、プロスポーツチーム、大学など、神奈川県の魅力ある財産である活動主体の力が十分に発揮されるための取組を進めながら、地域と共に、「安全・安心なまちづくり」「いきいきと健やかに暮らせるまちづくり」「魅力にあふれた賑わいのあるまちづくり」「地域の力やつながりをはぐくむまちづくり」の4つの施策を柱として、事業を展開していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 **合計： 105,888千円****1 4つの施策****(1) 安全・安心なまちづくり** **27,722千円**

防災・減災のまちづくりを進めるため、区防災計画に沿った自助・共助による地域における防災力の強化や、区役所の災害対応力の強化を図ります。また、防犯・交通安全対策に取り組み、地域の安全と安心を守ります。

《主な事業》地域防災力向上事業

(2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり **22,904千円**

子どもから高齢者まで、誰もがいきいきと健やかに暮らせるよう、区民の皆様の健康づくりや介護予防やスポーツ活動の充実をサポートします。また、児童虐待の防止をはじめ、保育所待機児童対策など、安心して子育てできる環境づくりを進めます。

《主な事業》かながわ子育てかめっ子支援事業、かながわ安心子育て支援事業

(3) 魅力にあふれた賑わいのあるまちづくり **12,614千円**

区の魅力発信や、商店街の活性化、道路や公園の整備などにより、魅力あふれた賑わいのあるまちづくりを行うほか、区民・事業者の皆様とともに、ヨコハマ3R夢プラン推進をはじめとした脱温暖化・資源化活動に取り組みます。

《主な事業》わが町かながわ商店街魅力発信事業、神奈川県資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

(4) 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり **16,160千円**

共に支えあい、助け合える神奈川県を目指して、地域の力やつながりをさらに強めるために、自治会町内会をはじめとした、様々な地域の自主的な団体の活動をサポートします。また、地域福祉保健計画や災害時要援護者対策などの取組を地域と共に進めます。

《主な事業》地域力アップ推進事業、地域福祉保健活動推進・支援事業

2 信頼が存在する区政運営 **26,488千円**

「チーム神奈川県」一丸となり、行政サービスの正確・迅速な実施や的確な情報発信を行います。また、おもてなしの心をもった丁寧な対応を行います。

《主な事業》チーム神奈川県おもてなし向上事業

※参考**【元気な地域づくり推進事業】** **合計： 4,476千円**

「活動の担い手づくり」を目的に、各種地域活動入門講座を実施します。また、地域の課題を解決しようとする区民の自主的な活動に対して、補助金の交付等による支援を行うとともに、先進的な取組を行っている団体による活動発表会を開催します。

《主な取組》地域づくりデビュー講座、かながわ地域支援補助金事業

予算編成の考え方

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ ～

西区は、既成市街地、横浜駅周辺地区、みなとみらい地区と性格の異なる3つのエリアで構成されており、地域住民はもとより来街者や企業市民に向けた施策の充実を図るとともに、新旧市街地を人的・空間的につなげていく必要があります。そして、西区のまちの歴史や魅力を広く発信し、さらなるまちの賑わいづくりに取り組んでいく必要があります。また、東日本大震災を契機にその重要性が再認識された人と人との「つながり」づくりによる、災害に強いまちづくりが求められています。

平成26年度は、地域のつどい等からみえてきた地域課題の解決のため、「地域のつながりづくり」の支援を基本として、「安心・安全なまちづくり」、誰もが「いきいきと健やかに暮らせるまちづくり」、区制70周年を契機とした「魅力発信・にぎわいのあるまちづくり」など、さまざまな事業に取り組んでいきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】	合計： 94,370千円
1 地域のつながりづくり	9,477千円
<p>地域における「顔の見える関係づくり」や高齢者等の見守り活動など、地域課題の解決に向けた取組を支援します。</p> <p>《主な事業》「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進、西区ふれあい福祉推進事業</p>	
2 安心・安全なまちづくり	6,735千円
<p>地域における自助・共助の取組を支援するとともに、地域特性に応じた防災・減災対策を進めます。</p> <p>《主な事業》地域防災活動推進事業、安心して暮らせるまちづくり推進事業</p>	
3 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	13,160千円
<p>健康づくり、感染症・食中毒対策、地域の高齢者・障害のある人への理解向上や活動のサポートなど、誰もが健やかに暮らせるまちづくりを進めます。また、子育てしやすい環境づくりに取り組みます。</p> <p>《主な事業》健康づくり応援事業、暮らしの衛生確保推進事業、障害のある人も住みやすいまちづくり事業、地域子育てサロン運営支援事業</p>	
4 魅力発信・にぎわいのあるまちづくり	27,416千円
<p>「温故知新」をキーワードに、西区の魅力発信と更なるまちのにぎわいづくりに取り組みます。</p> <p>《主な事業》西区の温故知新！魅力アップ事業、地域資源を活用した回遊ルートづくり事業、ふるさと西区魅力発信事業、西区プロモーション事業</p>	
5 活気にあふれたきれいなまちづくり	13,703千円
<p>清潔で快適なまちづくりを推進するため、横浜駅周辺を中心とした総合的な対策に取り組めます。</p> <p>《主な事業》ノー「スモキング&パーキング」プロジェクト、西区温暖化対策推進事業、西区ヨコハマ3R夢推進事業</p>	
6 親しみのある区役所づくり	23,879千円
<p>区庁舎の環境整備や窓口サービスの改善を進めるとともに、広聴広報の充実を図ります。</p> <p>《主な事業》区役所キッズスペース運営事業、サービス改善推進事業、広報充実事業</p>	

※ 参考

【元気な地域づくり推進事業】

合計： 3,176千円

区民主体の課題解決・地域運営を推進するため、区市市民活動支援センター、西区地域づくり大学校等の事業とも連携し、活動費補助、情報支援などの充実を図り、地域活動支援、人材発掘・育成などに取り組めます。

予算編成の考え方

誰もが安心と活力を実感するまち中区

中区では、全事業の見直しをPDCAサイクルに基づき徹底して行い、必要性を十分に検証した上で、「防災」、「健康づくり」など、喫緊の課題を解決するための事業に財源を重点配分しました。

その上で、「地域の知恵と力を活かした防災・防犯力・安全力の向上」など、6つの施策を立て、強力で推進していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計： 93,061千円**

1 地域の知恵と力を活かした防災・防犯力・安全力の向上 **15,618千円**

「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」に基づき、地域特性に応じた減災行動啓発を推進するとともに、平成25年末に公表された「首都直下地震被害想定」を視野に入れた防災・減災対策を消防署と連携し取り組んでいきます。

《主な事業》 地域防災力向上事業

2 子ども・青少年が健やかに育つ環境づくり **15,556千円**

安心して子育てができる環境づくりに取り組むとともに、区民の健康づくりを推進していくために必要な「運動のきっかけづくり」と「継続的な運動を行える場」を提供します。

《主な事業》 スポーツ・青少年事業（中区民健康づくり推進事業）、中区グランマ保育園事業

3 高齢者・障害者など、誰もが安心して生活できるサービスの充実 **6,376千円**

高齢者が住み慣れた地域で活き活きと生活できるよう、元気な高齢者の集まりで地域活動に貢献している老人クラブへの支援等を通じて高齢者の健康保持や地域の絆づくりを進めます。

《主な事業》 高齢者はつらつ推進事業

4 地域資源と市民の力による地域の活性化 **18,773千円**

地域の担い手を増やす取り組みを進めるとともに地域が行う活動を支援します。

《主な事業》 自治会町内会活動支援事業、中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業

5 区民・事業者との連携による環境行動の推進 **4,171千円**

区民・事業者と連携し、まちの美化やごみと資源物の排出量の削減を推進します。

《主な事業》 ヨコハマ3R夢プラン推進事業

6 区民とともに歩み、つながる区役所づくり **32,567千円**

区庁舎の環境改善や窓口サービスの向上に取り組み、感動をもたらす区役所づくりを目指します。

《主な事業》 感動区役所推進事業

※ 参考

【区局連携事業】 **合計： 13,791千円**

- ・外国籍・外国につながる児童生徒に向けた学習支援（5,251千円、教育委員会事務局）
- ・ことぶき高齢者健康維持支援事業（8,540千円、健康福祉局）

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 4,750千円**

地域が主体的に設立し運営する団体を支援するとともに、地域にコンサルタントを派遣し、地域課題の共有・解決に向けた仕組みづくりを進めます。

予算編成の考え方

**区役所全体が部・課を越えてチーム力を発揮し、
区民との協働のもとで「あったかい」南区をつくります。**

南区では、区の特徴や課題をふまえ、「地域活性化」、「減災」、「健康」、「こども」の4つの重点分野を定めました。区役所の全課がこれらの分野の視点を持って地域とともに事業に取り組み、チームとして重点分野を充実させていきます。

効果的・効率的な事業執行をしながら、区民との協働のもとで「あったかい」と感じていただける南区を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】	合計： 91,045千円
重点分野の事業	60,020千円
1 地域活性化	22,105千円
南区総合庁舎移転に伴う跡地の利用について検討を進めるとともに、「下町らしさ」を生かし、活気ある地域づくりや区内経済の活性化に取り組みます。また、南まつりをはじめ、文化・スポーツなどの分野で区民が主体となる活動への支援を通じて地域活力を高めます。 《主な事業》まちづくりのための資産活用検討事業、南区あったかいふるさとまつり事業	
2 減災	9,162千円
大地震を始めとする災害時に想定される被害を軽減させるため、南区の特徴である「人のつながり」を最大限に発揮できるよう「共助」の支援を基軸とした減災対策に取り組みます。 《主な事業》災害に強いまちづくり事業	
3 健康	17,672千円
働き・子育て世代の生活習慣病予防などライフステージに応じた心身の健康の維持・増進を目指します。あわせて、高齢者や障害者など様々な立場の区民がいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。 《主な事業》『健康で・元気な・暮らし』支援事業、『地域での暮らし・見守り』支援事業	
4 こども	11,081千円
養育者が安心して子育てできるように、様々な事業に取り組みます。特に、日本語や日本の文化に不慣れた親子に適切な支援ができるよう、体制を整えます。次世代を担うこども・青少年たちの健やかな成長を図ります。 《主な事業》『すこやかな子育て』支援事業、青少年育成事業	
着実に取り組む事業	31,025千円
地球にやさしいまちづくりを目指すとともに、職員一人ひとりが区民目線に立ち、区民から信頼される「あったかい」区役所づくりを進めます。 《主な事業》みなみチャレンジごみ減量事業、区民から親しまれる区役所づくり事業	

※ 参考

【区局連携事業】	合計： 4,014千円
・阪東橋・黄金町駅周辺地区バリアフリー基本構想策定（2,073千円、道路局） ・外国籍・外国につながる児童生徒に向けた学習支援（1,941千円、教育委員会事務局）	
【元気な地域づくり推進事業】	合計： 5,090千円

福祉など地域課題に対する地域活動を支援するため、区の支援機能の強化を進めるとともに、地域主体の協議や活動のための場づくりを支援します。また、人材発掘講座など地域活動に欠かせない地域の人材づくりを進めます。

予算編成の考え方

つながり はぐくむ ふるさと港南

少子・超高齢・人口減少社会を迎え、港南区の各地域では、自治会町内会の役員や委嘱委員などの皆さまが中心となり、住民同士が連携を深めて、防災・減災の活動、見守り活動、多世代交流イベントや美化活動など充実した取組を行っています。

区役所としても、地域や関係機関の皆さまとの協働関係をより深め、誰もが住み慣れた地域で元気に暮らし、また、将来世代に住みやすいまちを引き継いでいけるよう、「つながり はぐくむ ふるさと港南」を目標に、様々な分野において横断的に取組を進めます。

あわせて、市民生活に最も身近な行政機関として、「共感と信頼」の区役所づくりを進めます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計： 106,797千円**

1 安全・安心のまちづくり **25,777千円**

日常的な見守り活動と防災・減災活動の一体的な推進、防犯活動の活性化など、地域との協働により自助・共助の取組を進めます。あわせて、食の安全対策など、地域生活の安全・安心の向上を図ります。

《主な事業》災害に強いまちづくり事業、緊急輸送路から地域防災拠点等へのアクセスルート検討事業
地域福祉保健活動推進事業

2 一人ひとりが元気に暮らせるまちづくり **13,844千円**

区民主体によるスポーツ・文化活動などを通じて健康寿命を延ばすとともに、シニアパワーが地域活動に発揮されるなど、高齢者や障害者の方々をはじめ、一人ひとりが元気に暮らせるよう取り組みます。

《主な事業》港南ヘルスアップ事業、ウォーキング推進事業

3 子ども・青少年が健やかに育つまちづくり **23,121千円**

子ども達が地域で健やかに成長できるよう、身近な場所での居場所づくりをはじめ、学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。また、次代を担う青少年が地域で活躍する機会を提供します。

《主な事業》地域で子育て応援事業、「切れ目のない」子育て支援事業、青少年みらい応援事業

4 住み続けたいまちづくり **15,019千円**

ごみの削減などの環境活動をはじめ、川や道路の清掃など、きれいで住み続けたいまちを将来に引き継ぐための活動を進めます。また、安全な通学路の整備や、バス利用環境の改善に向けた取組を進めます。

《主な事業》こうなんの「エコ活。」推進事業、うるおいのある美しい街づくり事業、
高齢社会に対応した路線バス利用環境改善事業

5 「共感と信頼」の区役所づくり **29,036千円**

正確で丁寧な窓口サービスの提供、区民ニーズの把握と区政への反映、わかりやすい区政情報の提供を行うなど、「共感と信頼」の区役所づくりを進めます。

《主な事業》総合案内充実事業、快適区役所推進事業

※参考

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 4,610千円**

地域と区で進める「協働による地域づくり」をさらに推進するため、地域の様々な活動者や団体と区役所が地域について一緒に考え、意見交換する場を充実させるなど、地域と連携した取組を進めます。

《主な事業》「地区別意見交換会」開催支援事業、地域デビュー応援事業、
元気な地域づくり推進フォーラム事業

予算編成の考え方

いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷 をめざして

旧東海道の宿場としての歴史や、2つの川が流れ坂の多い地勢、活発な市民・福祉活動といった地域特性や、窓口や地域で把握した区民ニーズを踏まえ、6つの重点政策分野を設定しました。

地域に根ざす自助・共助の推進、少子高齢化への的確な対応、地域資源の発掘・連携に資する事業に予算を優先的に配分し、「いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷」の実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 **合計： 103,205千円**

- | | | |
|----------|---|-----------------|
| 1 | 地域のひと・もの・場のつながりが生み出す保土ヶ谷の活力 | 13,691千円 |
| | 様々な担い手が連携した共助の土壌づくり、資源の発掘・連携による総合的な地域活性化に取り組みます。
《主な事業》 横浜国大パートナーシップ事業、はぐくみプロジェクト | |
| 2 | 防災・防犯をはじめとした安全・安心なまちづくり | 24,457千円 |
| | 様々な主体のノウハウの集結・活用を通じた、自助・共助による安全・安心なまちづくりに取り組みます。
《主な事業》 災害対策推進事業、医療依存度の高い在宅療養患者のための減災サポート事業 | |
| 3 | 支えあいの実践から始まる身近な暮らしの安心・充実 | 5,949千円 |
| | 地域福祉保健計画の推進や高齢者の「健康長寿」の育み、障害児・者への支援体制の充実に取り組みます。
《主な事業》 きらり☆シニア事業、保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業 | |
| 4 | 未来を担うこどもたちの育成 | 12,180千円 |
| | ニーズに応え地域全体で子育てを支援する環境づくりや、元気な「がやっこ」の育成に取り組みます。
《主な事業》 ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～、みんなで育む がやっこ事業 | |
| 5 | 次世代につなげる魅力あるまちづくり | 14,906千円 |
| | 地域資源の魅力アップや交流の推進、花憲章・3R夢・エコ活。の推進に取り組みます。
《主な事業》 歴史浪漫 ほどがや事業、読書活動推進事業 | |
| 6 | 信頼され、親しまれる身近な区役所づくり | 32,022千円 |
| | 丁寧・迅速な対応、区民の要望を自分のことと受け止められる職員の育成、庁舎環境の向上に取り組みます。
《主な事業》 区民と職員がともに誇れる区役所づくり強化事業 | |

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】 **2,500千円**

くぬぎ台小学校の跡地利用を契機とした地域活性化プロジェクト

【区局連携事業】 **5,000千円**

保土ヶ谷宿を未来につなげるみちづくり事業(道路局)

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 4,566千円**

第3期地域福祉保健計画の検討を契機とした区をあげた生活課題の議論などを通じて、自助・共助の取組の浸透、また、その土台となる地域活動の支援、活動の横つなぎに力点を置いて取り組んでいきます。

予算編成の考え方

「安心」「健やか」「ふるさと」旭を目指します。

平成26年度旭区個性ある区づくり推進費の予算編成にあたっては、区民の方々が抱える様々な不安(災害や子育てへの不安、高齢者の孤立問題等)を軽減・解消するため、引き続き地域と行政を「つなぐ・つながる」ことを念頭に置き、区政運営方針に掲げる3つの柱『安心ある つながり』『誰もが健やかな まち』『大切な ふるさと』に重点を置いて事業に取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 **合計：101,462千円**

1 安心ある つながり **24,915千円**

高齢者の方や障害者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、関係団体や各機関と連携した地域のつながりの促進に取り組みます。また、防災訓練の支援を通じて、地域や行政の災害対応力の向上、防災意識の高揚、減災に向けた取組を行います。

《主な事業》市営ひかりが丘住宅支援事業、災害に強い区づくり事業

2 誰もが健やかな まち **24,387千円**

誰もが安心して子育てができるよう、地域全体で子育て世代を支え、見守り、子どもたちが地域の中で健やかに成長していくまちづくりに取り組みます。また、区民一人ひとりが健康な生活を送ることができるよう、スポーツ振興や健康生活支援に取り組みます。

《主な事業》子育て支援事業、区民スポーツ事業、健康生活支援事業

3 大切な ふるさと **52,160千円**

旭区の特長である帷子川や豊かな緑などの身近な自然を大切に取る取組や、ふるさとを感じてもらう取組を行います。また、旭区マスコットキャラクター「あさひくん」を通じて、区に愛着を持ち魅力を高める取組を行うとともに、心豊かな区民生活の実現に向けた文化振興に取り組みます。

《主な事業》水・緑による旭区の魅力アップ事業、「あさひくん」でつながる旭区の元気推進事業、文化芸術による心の豊かさ推進事業

※ 参考

【区局連携事業】 **4,300千円**

旭区図書取次サービス事業(教育委員会事務局)

【元気な地域づくり推進事業】 **合計：5,310千円**

区内各地域における課題解決等の取組を充実させるため、「タウンミーティング」や「地区担当制」により地域ニーズを的確に把握し地域とのつながりを築くとともに、補助金の交付、小学生を対象としたボランティア体験などの事業を行います。

予算編成の考え方

～「地域の人たちとともにつくる暮らしやすいまち・いそご」を目指して～

地域の課題を解決するための地域の自助・共助の取組が、今まで以上に大切になっています。そのため、地域活動や地域のつながりに対する行政の支援が重要になります。磯子区では、地域自治を支援する取組として「地域協働推進員」、「コスモスミーティング」、「どこでもお出かけ区役所講座」などを活用し、地域のニーズをしっかりと受け止め、必要な支援を実施します。

高齢者やこどもの見守り、災害に備えた要援護者支援、健康づくりなどは、行政主導ではなく、地域の自主的な取組を中心に進めます。また、その取組エリアも、地区連合単位の広いエリアからより小さなエリアである自治会・町内会単位の「顔の見える関係」の中での取組を重視します。このような地域の取組に対して、これまで以上に区職員と地域ケアプラザなどの関係機関職員が連携し、地域の実態を十分把握し、より実情に即した支援を進めます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 合計： 97,125千円

1 地域課題解決のための自主的な場づくり・担い手づくり 23,996千円

高齢者や障害者の地域ぐるみの見守り、地域とともに取り組む健康づくりや子育て支援など、地域活動の担い手づくりや、各種地域団体が連携して課題解決に取り組む“地域の場づくり”などを支援します。

《主な事業》第2期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子II」推進事業及び次期計画の策定事業、高齢者みんなで支えるまちづくり事業、区民の健康づくり応援事業、「区民のちから」発揮・活用事業

2 地域のにぎわいや元気を創出する魅力づくり 25,230千円

魅力あふれるまちの実現に向けて、区民とともに地域の魅力資源の掘り起こしや発信などを進めます。

また、区商店街連合会や区民文化センターと連携して、あらゆる世代の区民が参加できるイベントの実施などにより、商店街振興や地域文化の活性化に取り組みます。

《主な事業》大好き磯子！魅力発揮事業、商店街にぎわいづくり事業、磯子まつり事業、地域文化活性化事業～文化があふれ、活力ある街～

3 自助・共助による安全・安心のまちづくり 19,435千円

区民の安全安心を確保する重要施策として、地域住民や防災ボランティア団体と連携して自助・共助の取組を進めるなど、防災対策・減災意識の啓発を継続します。また、区民の安全な暮らしを守るため、防犯や交通安全などの地域活動を支援します。

《主な事業》地域と一緒につくる安全安心まちづくり事業、いそご地域・学校防犯力強化事業、交通安全啓発事業

4 区民ニーズの把握とわかりやすい情報発信 28,464千円

区民ニーズを的確に把握し、施策に反映させるとともに、区民にわかりやすく親しみやすい情報発信を行います。また、各職場での研修や窓口改善などにより、親切、丁寧で迅速な区民サービスを提供します。

《主な事業》広報よこはま磯子区版発行事業、広報相談事業、CS・ES向上事業

※ 参考

【元気な地域づくり推進事業】 合計： 5,904千円

地域の担い手づくりや活動のきっかけづくりができるよう、連続講座や交流事業を実施します。また、地域の課題解決への継続的な取組や第2期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子II」の推進による地域の福祉保健活動を支援します。

予算編成の考え方

「地域の皆さまと共に考える、挑戦する、つくる！」

「誰もが、訪れたい、住みたいまち・金沢を目指して」、基本目標の実現に向け、未来の金沢区を見据えた予算編成を行いました。

「防災」「少子高齢化」「地域活性化」などの課題解決を図りながら、金沢区の魅力アップや区民のつながりを強化する事業に取り組みます。さらに区役所が継続して取り組んでいる「金沢まごころ運動」を推進します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 **合計： 102,770千円**

1 環境未来都市を目指し、

地域と共に課題解決や活性化に取り組む仕組みづくり **11,717千円**

少子高齢化や環境など地域の課題を、地域と協働で解決するために、大学との連携やオープンデータを活用した地域支援及び地域活性化を進め、環境未来都市にふさわしいまちづくりを推進します。

《主な事業》空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業、子育て情報スマートタッチ!「かなざわ育なび.net」推進事業

2 金沢区の特徴である歴史資産、観光、大学、産業の活用 **25,066千円**

歴史資産・産業など金沢区の特徴を生かし、大学との連携を進め、もっと見たい、もっと知りたいと思えるような金沢区の魅力を伝える事業を展開します。

《主な事業》金沢発!「中小企業活性化」大学連携ベンチャープロジェクト事業、金沢まつり事業【第40回記念事業】

3 安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに育つまちづくり **19,051千円**

養育者の子育ての負担感を軽減するとともに孤立を防いで安心して子育てができ、子どもたちが地域の中で健やかに育つために、金沢区で子育てがしたくなる、きめ細かな支援に取り組みます。

《主な事業》読んで知って楽しむかなざわ(読書活動推進キックオフ事業)

4 誰もが健康で生きがいをもてる環境づくり **14,606千円**

高齢者をはじめ、誰もがいきいきと健康で生きがいを実感し、地域のつながりの中で安心して住み続けたいまちをつくりたい。

《主な事業》元気!湧くWAKU事業

5 防災力・災害対応力の向上 **16,286千円**

災害発生時に、地域防災の円滑な運営ができる地域の人材育成に取り組むとともに、工業地域も含めた地域間の連携を図り、災害発生時の共助の仕組みを拡充します。

《主な事業》金沢防災“えん”づくり事業～顔の見える防災の輪～

6 「金沢まごころ運動」の推進 **16,044千円**

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】 **4,500千円**

金沢区における環境未来都市づくり ～社会経済システムイノベーションの実践～

【区局連携事業】 **合計： 4,450千円**

- ・金沢区におけるICTプラットフォームとオープンデータの推進(450千円、政策局)
- ・金沢八景駅周辺整備事業(大学の活力を生かした金沢八景駅周辺のまちづくり)(3,000千円、都市整備局)
- ・旧川合玉堂別邸(園庭緑地)活用検討事業(1,000千円、教育委員会事務局)

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 5,268千円**

地域と共に課題解決をしていく「地域と向き合う体制」としての地域支援チームが地域に参加し、地域のプラットフォームづくりを推進します。

予算編成の考え方

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」を目指して

子育て支援や防災力向上の取組などを進め、だれもが安心して暮らせる快適なまちづくりを進めるとともに、港北区の魅力を内外に広く伝え、にぎわいのある区をつくります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計：105,296千円**

1 活気にあふれるまちづくり **38,239千円**

個人の庭やグループ花壇、歴史的建造物、工場を公開する「港北3大OPEN!」や写真コンテスト等を通じて港北区の魅力を発信し、区民の地域への愛着をより深めます。また、様々な地域活動団体間の連携強化などの支援を行い、地域がつながる活気あふれるまちづくりを目指します。

《主な事業》港北魅力発見事業、地域のチカラ応援事業、芸術文化振興事業、育もう「ふるさと港北」事業

2 地域で支えあう福祉のまちづくり **22,776千円**

保育所の専門知識や技術を十分に発揮した育児講座や食育講座などを実施し、保育所がより身近な子育て支援の場となるよう取り組むとともに、「ひとつプラン港北」を通し区民とともに地域福祉課題の解決を進めるなど、地域で支えあう福祉のまちづくりを目指します。

《主な事業》地域子育てつながり事業、「ひとつプラン港北」推進事業

3 安心して暮らせる地域社会 **20,482千円**

区災害対策本部の強化、関係団体への活動支援や啓発を行うとともに、ウォーターカーテンホースの充実などを進め、地域の防災力の向上を図ります。また、地域のボランティアとともに放置自転車対策を進めるなど、安心して暮らせる社会の実現を目指します。

《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、災害時医療整備事業、放置自転車ストップし隊事業

4 組織力・職員力の発揮による住民サービスの向上 **23,799千円**

港北区キャラクター「ミズキー」を使って区のPRを進めるとともに、ホームページやツイッターを活用することで、迅速・正確・有用な行政情報サービスの提供を目指します。

《主な事業》港北区PR情報発信事業、広報よこはま区版発行事業

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】 **2,500千円**

環境学習の技術移転による国際貢献事業

【元気な地域づくり推進事業】 **合計：4,592千円**

市民主体の地域運営を充実させるため、地域活動団体と自治会町内会等の連携が深まる機会を増やすほか、活動の広報、区職員や区民利用施設スタッフ等を対象とした研修などにより、地域活動を支援します。

予算編成の考え方

～安全・安心で誰もが住みたくなるやさしいまちの実現にむけて～

緑区では、区民の皆様に切れ目のないサービスを提供し、安全・安心を実感していただくことを第一に考えながら、誰もが住みたくなるやさしいまちとなるよう、「安全・安心なまち」「いきいき暮らせるまち」「みどりの魅力あふれるまち」の3つの実現を目標として、区民の皆様とともに様々な施策・事業に積極的に取り組んでいきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計： 96,407千円**

1 安全・安心なまち **16,013千円**

地域の特性に応じた区民の皆様の主体的な取組を支援し、自助・共助による減災・防犯の取組を推進します。特に、大規模な災害の発生に備え、実践に即した体制を整備するなど、引き続き区民の皆様と協働して「災害に強い緑区」をつくりあげていきます。

《主な事業》 災害に強いまちづくり事業、安全・安心な区民利用施設づくり事業

2 いきいき暮らせるまち **26,219千円**

高齢者の孤立防止やこころ豊かな生活を送るための支援、子育てに対する不安と負担の軽減や子どもの健やかな成長の支援、障がい児・者の自立支援と社会参加の促進、生活保護を受給している方の自立支援や学習支援を行います。また、区民の皆様のご健康寿命を延ばすための自発的な健康づくりを支援します。あわせて4年目を迎える「みどりのわ・ささえ愛プラン（緑区地域福祉保健計画）」の地区別計画を区民の皆様とともに着実に推進するなど、「誰もがいきいき暮らせるまち」を目指します。

《主な事業》 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業、あんしん子育てネットワーク事業、ミドリンウォーキング事業

3 みどりの魅力あふれるまち **54,175千円**

豊かな自然、農業や商業、歴史的財産、文化・芸術活動等の緑区の魅力を生かした取組を進めます。

「農」の魅力を広く発信することで、農業の振興を推進します。また、地域団体等との連携により、温暖化対策や3R夢（スリム）プランの取組を進めます。

さらに、まちにうるおいと活気を与える花いっぱい活動や緑化、区民文化センターの開館を契機とした区内文化活動のさらなる活性化など、区民の皆様一人ひとりにその担い手となっていただきながら、「みどりの魅力アップ」に取り組んでいきます。

《主な事業》 みどり！まるごと応援事業、環境に配慮した雨水調整池の維持管理検討事業、スマートイルミネーション

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】 **1,500千円**

郊外部の団地における日常生活を健康で豊かにするためのモデル事業

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 4,788千円**

地域課題に取り組む地域団体、市民活動グループ等の活動を支援するため、助成金を交付します。事業実施にあたっては、地域と区役所が連携することで地域力を高めます。

予算編成の考え方

住みつづけたいまち「青葉」～つながりから協働の拡大へ～

青葉区では、地区担当制等を通じた地域との連携づくりを進めています。その過程で築いた関係を基盤に、地域との協働により、中長期的な目標である「住みつづけたいまち『青葉』」を実現していきます。区民の要望や陳情、提案などをしっかりと受け止め、その背景にある思いに共感し、解決のために汗をかく「共感と信頼」を区政運営の基本的な理念とします。また、平成26年は青葉区制20周年を迎えます。これを1つの契機として、協働の取組を拡大し、地域の課題解決や魅力向上に取り組んでいきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計： 108,965千円**

1 子育てに寄りそうまち **14,949千円**

子育て世代が多いという青葉区の特性を踏まえ、出産にいたるまでの様々な支援、「地域育児教室」での子育て支援や養育者同士の交流機会の提供などにより、養育者の育児不安の解消や負担軽減に向け、幅広く支援を充実させていきます。

《主な事業》オレンジ子育て事業（AOBA乳幼児デイレスパイトケアほか）、プレ子育て事業

2 安心していきいきと暮らせるまち **30,980千円**

地域と連携した、防災力・防犯力の強化、健康づくりの増進、高齢者の生きがいづくりへの取組など、防災・防犯や健康・福祉の視点にたって、身近な安全・安心の実現と誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを推進していきます。

《主な事業》青葉区防災の街づくり事業、青葉区健康長寿のまちづくり支援事業

3 地域の活力があふれるまち **54,945千円**

区制20周年を契機に、青葉区への関心や愛着感の醸成に取り組むとともに、地域との協働による地域の課題解決、商店街や中小企業への支援などにより、地域の活性化を図り、豊かで潤いのあるまちづくりを推進していきます。

《主な事業》区制20周年記念事業、協働による地域力応援事業

4 大切な環境を守り育むまち **8,091千円**

温暖化対策の普及や青葉区の特性を生かした創エネの取組の検討、地域と一体となったごみ総量の削減と3Rの推進などへの取組により、環境行動の推進を図っていきます。

《主な事業》「丘のエコハマ」創エネ大作戦事業、3R推進事業

※ 参考

【温暖化対策プラス事業】 **2,166千円**

公共施設省エネ推進事業

青葉区内の公共施設において、より一層の省エネを図るため、照明の自動点灯化を推進します。

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 4,800千円**

区民による主体的な地域課題の解決、地域運営のための補助金の交付や区民が主体的に活動するためのきっかけづくりとなる講座の開催や運営を支援します。

予算編成の考え方

未来につなぐ 笑顔のつづき

～ずっと住み続けたい都筑区を目指して～

区政運営方針で掲げた基本目標である「未来につなぐ 笑顔のつづき ～ずっと住み続けたい都筑区を目指して～」の実現に向け、引き続き、「地域 つながる 支えあう」を基本とした施策を区役所全体で横断的に実施していきます。

推進する事業を検討するにあたっては、区民ニーズや地域特性を踏まえ、既存事業の見直しを行うとともに、優先度の高い事業については着実に推進するなど、更なる区民満足度の向上に取り組んでいきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計： 105,468千円**

1 子育て支援、福祉・保健の充実 **27,520千円**

妊娠期からの子育て支援やこども・青少年の健全な育成を図るとともに、地域の幅広い福祉保健活動を支援するなど、支えあいのまちづくりをすすめます。

《主な事業》 地域の子育て力アップ支援事業、ラジオ体操で健康づくり事業

2 活力あふれるまちづくり **27,967千円**

区制20周年に向けたふるさと意識の向上につながる区民、事業者、行政の協働による記念事業をはじめ、地域活動や区内産業の支援などを通して、元気あるまちづくりをすすめます。

《主な事業》 区制20周年 未来につなぐ笑顔のつづき事業、メイドインつづき推進事業、商店街魅力発信事業

3 安全・安心なまちづくり **14,952千円**

地域の防災力、防犯力向上のための支援体制を整え、安心して暮らせるまちづくりをすすめます。

《主な事業》 重症者の命を救う災害医療整備事業、災害にそなえる自助・共助推進事業、都筑区危機管理対策推進事業

4 快適で暮らしやすいまちづくり **16,285千円**

地球環境に優しいライフスタイルへの転換を呼びかけるなど、脱温暖化に向けた取組を推進します。また、地域資源である緑道や自転車歩行者道の安全・快適なネットワークの検討及び利用マナーの啓発を実施します。

《主な事業》 グリーンマトリックスを活かした自転車・歩行者安全事業、都筑区温暖化対策関連事業

5 区民満足度向上に向けた区役所の取組 **18,744千円**

区民満足度向上のため、区民への積極的な情報提供、窓口サービスの改善を行います。

《主な事業》 区民への情報提供事業、区民広聴相談事業

※ 参考

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 3,100千円**

自治会町内会をはじめ、地域の様々な団体等が連携した、地域課題の解決に向けた取組を支援します。また、地区センターの「地域活動拠点」としての機能強化を進め、地域活動のきっかけづくり、人材発掘をすすめます。

予算編成の考え方

～ 地域の絆 とともに築く「とつか」の新しい歴史 ～

戸塚駅西口第1地区市街地再開発事業の完了と「戸塚大踏切デッキ」の開通に続き、平成26年度末には都市計画道路柏尾戸塚線のアンダーパスの完成が予定されております。先人たちが思い描いた戸塚のまちが実現することにより、地域の絆が一層深まり、新しい「とつか」の歴史がキャンバスに描かれます。

そこで、区民の皆様が安心と安全を実感でき、希望を持って生活できる「とつか」を築くため、地域の方々をはじめ大学や企業等との連携を行い、地域の活性化を図るとともに、高齢化への対応や切れ目のない子育て支援などの事業を展開します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】	合計： 95,194千円
1 「地域の絆」づくり	23,841千円
<p>地域での課題解決に向けた取組や活動団体への支援など、区民の皆様や自治会町内会、企業、学校等との「地域の絆」づくりを意識した事業に取り組みます。</p> <p>《主な事業》区民活動支援事業、地域プラットフォーム推進事業</p>	
2 安全を実感できるまちづくり	15,575千円
<p>防災啓発や関係機関と連携した防災訓練の実施などにより、地域における防災力の向上を図るとともに区本部機能の強化を図ります。また、地域防犯活動拠点の設置支援などを通じて防犯力を強化するとともに、交通安全・放置自転車対策などを行い、一層安全なまちづくりに取り組みます。</p> <p>《主な事業》地域防災力強化事業、防犯力強化事業、交通安全・放置自転車対策事業</p>	
3 誰もが安心して暮らせるまちづくり	22,147千円
<p>きめ細やかな子育て支援をはじめ、児童虐待の防止・早期発見などに関係団体等と連携して取り組みます。また、高齢者や障がい者を地域で支える仕組みづくりに取り組むとともに、区民の皆様の健康づくりを推進します。</p> <p>《主な事業》子育て応援事業、戸塚区高齢者見守りネットワーク事業、とつか健康パワーアップ事業</p>	
4 活気に満ちた魅力あふれるまちづくり	15,596千円
<p>音楽や芸術など地域文化の振興や中小企業・商店街支援を行うほか、歴史や自然など戸塚の魅力を生かした取組を行い、まちの活性化を図ります。</p> <p>《主な事業》とつかブランド向上事業、とつか音楽の街づくり事業、区内立地中小企業支援事業</p>	
5 きめ細やかなサービスの提供	18,035千円
<p>区民の皆様のニーズをとらえ、ハード・ソフト面の一層の充実を図り、区民の皆様にご満足いただける区役所を目指します。</p> <p>《主な事業》区総合行政推進事業、区民に身近な広聴・相談事業</p>	

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】	1,500千円
環境未来都市間交流による地域活性化事業	
【区局連携事業】	7,000千円
東戸塚図書館サービスコーナーにおける図書取次事業（教育委員会事務局）	
【元気な地域づくり推進事業】	合計： 4,020千円
新たな担い手の発掘や研修の機会を作ることにより、地域活動団体のパワーアップを図るとともに、活動経費の助成、地区担当者のスキルアップなど、地域活動の側面的な支援体制を強化します。	

予算編成の考え方

国際セーフコミュニティ都市として、「安全・安心」なまちづくり

栄区は平成25年10月5日に、安全・安心な都市の世界基準である「セーフコミュニティ都市」の認証を取得し、世界の安全都市の一員となりました。平成26年度は安全・安心なまちづくりの取組をさらにステップアップさせ、栄区全体を盛り上げていきます。

- (1) 「安全・安心」で暮らしやすいまちを全面的に打ち出します。
- (2) 「安全・安心」が身近で実感できるような取組を推進します。
- (3) 「安全・安心」を次代の飛躍につなげられようにします。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計： 102,561千円**

1 活力 **14,753千円**

本郷台駅周辺や商店街などでのイベントや、MISIAの森プロジェクトなどによる豊かな自然環境の魅力発信により集客を高め、栄区の活性化に取り組みます。また高齢化が進んだ住宅地について、自然との共存や安全安心など、次世代の暮らしのライフスタイルをふまえて、多世代が混住できるまちづくり構想を検討します。

《主な事業》 さかえにぎわい推進事業、さかえ環境まちづくり事業

2 安心 **51,280千円**

セーフコミュニティ認証都市として、「安全・安心」に対する総合的な取組を進めるとともに、さかえっ子体操の普及により「子どもの笑顔あふれるコミュニティ」を目指すというメッセージを広め、栄区のブランド力を高めます。防災について、栄区版防災情報Eメールの発信、身近な診療所との情報ネットワークの構築、地域防災拠点を補完する新たな地域避難所の設置など、自助・共助の取組を充実させます。

また、子育てしやすいまちづくりのために、待機児童リバウンドゼロの取組や児童虐待対策を進めます。

《主な事業》 セーフコミュニティ事業、健康づくり推進事業、防災力向上事業、健やか子育て応援事業、児童虐待防止事業

3 きずな **36,528千円**

女性の活躍の場づくりや女性の力を活用する意識啓発に取り組み、女性の人材登用につなげます。

また、「国際貢献」をテーマとした地域の人材育成や、小中学生を対象にアフリカ支援などを学ぶプログラムを実施し、栄区から世界に発信します。

《主な事業》 親しまれる区役所づくり事業、広がれ！地域元気の輪事業、未来に羽ばたけ、さかえっ子事業

※ 参考

【区環境未来都市推進事業】 **1,500千円**

セーフコミュニティ事業

【元気な地域づくり推進事業】 **合計： 4,990千円**

地域の課題解決に取り組む団体やグループ等の活動を支援することで、連携して課題解決に取り組む地域を増やすとともに、地域における人材づくりと横のつながりの充実に取り組みます。

予算編成の考え方

「区民と歩む泉区政～身近な自治で大きなつながり～元気の出る泉区づくり」

平成26年度泉区予算編成に当たっては、現在までの事業展開を点検するとともに、防災・減災対策の具体的な展開、保育所待機児童対応の継続など、重点となる施策への対応を図りました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 合計： 98,583千円

1 地域活動の支援 16,741千円

地域協議会の運営や地区経営委員会による地域課題の解決に向けた取組の支援を進めます。また、自治会・町内会の振興やスポーツ・多文化共生を含めた様々な地域活動を支援することにより、地域のつながりづくりを推進します。

《主な事業》「地域主体の地域運営」推進事業、自治会町内会振興事業、多文化共生事業

2 安全・安心なまちづくり 16,150千円

区民が安全に安心して暮らせるよう、木造住宅密集地域における延焼防止対策を含む防災・減災対策、防犯・交通安全、食とくらしの安全などの取組を推進します。

《主な事業》防災対策事業、防犯対策事業

3 次世代の担い手づくり 11,177千円

次世代の泉区を支える担い手づくりのため、事業者と連携した保育ニーズへの対応による子育て支援や、学校・家庭・地域が連携した青少年の健全育成と居場所づくりなどを推進します。

《主な事業》保育施設等との協働による子育て支援推進事業、青少年を育むまちづくり事業

4 健康と福祉のまちづくり 8,918千円

いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域と連携し、高齢者・障害者の支援や健康づくりなどに取り組みます。また、地域住民や関係機関等と協働し、地域福祉保健計画を推進します。

《主な事業》第2期泉区地域福祉保健計画推進事業、健康づくり活動支援事業

5 地域資源の活用と環境に配慮したまちづくり 19,887千円

泉区ならではの水と緑、農業や伝統文化等の地域資源の活用を進めるとともに、低炭素循環社会の実現に向け、環境に配慮したまちづくりを推進します。

《主な事業》横浜市都市計画マスタープラン泉区プラン改定事業、泉区区民意識調査、いずみ文化支援事業

6 区民に開かれた区役所づくり 25,710千円

区民が親しみやすく利用しやすい区役所づくりを進めます。また、区民の皆さまへ様々な情報を提供・発信します。

《主な事業》区役所環境向上事業、広報事業、窓口案内ボランティア事業

※ 参考

【元気な地域づくり推進事業】 合計： 3,670千円

地域主体の地域運営・まちづくりを推進するため、「地区経営委員会」への運営補助、コーディネーター派遣など、多様な地域課題の解決に向けた地域支援を推進します。

予算編成の考え方

「幸せが実感できる瀬谷づくり」

平成26年度は「市政運営の基本的な考え方」に基づき、「切れ目のない安心社会の実現」や「強靱な防災・減災都市の実現」等の施策を推進します。また、「幸せが実感できる瀬谷づくり」という瀬谷区運営方針の基本目標達成に向けて、瀬谷区の地域資源を活用した様々な取組を充実します。

予算編成にあたっては瀬谷区の課題を区内全体で共有するとともに、経費節減や終了事業等により捻出した財源を最大限に有効活用し、課題解決に向けて各課が連携し、より効果的に事業展開できるよう取り組みました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】	合計： 93,892千円
1 こども・青少年の育成	13,176千円
こどもが健やかに生まれ育つために必要な育児支援を行うとともに、地域や学校等と連携し地域の子育て力の向上やこども・青少年の元気で豊かな成長を支援します。	
《主な事業》次世代育成支援事業、健やか瀬谷っ子事業	
2 健康・福祉の充実	11,805千円
いきいきと生活を送ることができるよう区全域で健康づくりに取り組むとともに、地域や福祉保健活動団体等と連携を深め、地域の福祉保健を推進します。	
《主な事業》健康せや推進事業、高齢者支援事業	
3 安全・安心のまちづくり	13,220千円
防災訓練・研修等を通じて自助・共助の取組を推進します。また、関係団体と連携を図りながら防犯・交通安全意識の啓発・向上を図ります。	
《主な事業》災害等対策事業、まちの安全支援事業	
4 魅力の創出・区民協働の推進	31,041千円
豊かな自然や由緒ある史跡などの地域資源を瀬谷の魅力として発信し、区民満足度の向上を図るとともに、区民との協働及び区民同士の交流を促進し区民活動の活性化や地域力の向上を図ります。	
《主な事業》瀬谷の魅力発信・名所づくり事業、区民活動支援事業	
5 共感・信頼の区役所	24,650千円
地域からの信頼や期待に応えられる区役所を実現するため、地域特性に応じたきめ細やかな支援を行います。また、フロア案内員の配置や案内サインの充実等により来庁者サービスの向上を図ります。	
《主な事業》窓口サービス向上事業、瀬谷区証明発行サービス事業	

※ 参考

【元気な地域づくり推進事業】	合計： 4,004千円
区役所が地域に寄り添い、地域と課題を共有するとともに所属の枠を超えた体制によって、区役所全体で地域主体の課題解決に向けた取組を支援します。	



OPEN
YOKOHAMA

平成 26 年度 市民局 運営方針

基本目標

“すべては市民の元気のために”

つなぐ つくる まもる

目標達成に向けた施策

1 元気で安全な地域づくり、絆・支え合い、協働の取組の推進

地域の絆や支え合いが深まり、いきいきとした地域コミュニティが形成され、地域が課題解決に取り組めるよう、市民協働の推進、地域活動への支援を行うとともに、区役所の地域支援機能の強化を図ります。また、市民の安全・安心な暮らしが実現できるよう、地域防犯環境の整備などを推進します。

2 横浜の魅力・活力を高めるスポーツの振興

「横浜市スポーツ推進計画」に基づき、子どもから高齢者まで市民の誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係団体等との連携・協働を進めながら、スポーツ振興を推進します。大規模スポーツイベントの誘致やプロスポーツチームの支援等を行うほか、市民参加型フルマラソン「横浜マラソン 2015」を開催し、横浜の魅力・活力を高めていきます。さらに、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機としたスポーツ振興等を実施します。

3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進

区民の皆様の安心と信頼を得られる区役所の窓口となるよう、引き続き満足度向上に向けた取組を進めます。区の災害対策本部となる区庁舎の耐震補強や建替え再整備等を行うとともに、市民の身近な活動拠点として市民利用施設の整備を推進します。

4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進

市民一人ひとりが互いに人権を尊重する社会の実現を目指して、市民の皆様や事業者への啓発、職員研修など人権施策を推進します。また、犯罪被害者相談室による相談・支援の実施及び普及啓発に取り組めます。男女共同参画社会を目指し、日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市横浜の実現に向け、国内外との連携を図りながら、女性の活躍を支援します。また、市内事業所における働きやすい職場づくりの推進、女性に対する暴力根絶に向けた取組などを進めます。

5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

「広報よこはま」、テレビ・ラジオ、インターネット等の広報媒体を活用し、市民の皆様が必要とする市政情報を分かりやすく、正確・確実にお伝えするとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。また、各種広聴事業を通じて把握した市民ニーズを、市民サービス向上や施策反映につなげます。さらに、適正で円滑な情報公開を進めるとともに、個人情報保護施策を推進します。

目標達成に向けた組織運営

共感と協働を大切にした運営

丁寧・迅速・正確に加え、市民の皆様寄り添い、共感を大切にした対応をします。地域や区役所と共に考え、連携して課題に取り組むとともに、目標や情報を共有し、風通しのよい組織をつくりまします。また、絆・支え合い、市民協働を推進するため、「横浜市人材育成ビジョン」に基づき、職員一人ひとりが協働について理解を深め、必要とされるスキルを身に付けられるよう、人材育成に取り組まします。

チーム力を発揮した運営

区局や部の垣根を越えて連携しながら、効率的・効果的に業務に取り組むとともに、職員間のコミュニケーションや、職場内の情報共有を徹底します。職員の持つ多様な能力と知恵を結集し、チーム力をいかして、質の高いサービス提供と、市民満足度の向上に取り組むとともに、職員のワーク・ライフ・バランスも推進していきます。

現場の声を生かし、つなぐ運営

市民生活が営まれる「地域」こそが現場であると認識し、現場を見て、声を聞き、現場の空気を感じながら業務に取り組まします。地域の声が市政に反映されるよう、18区に共通する課題の解決や、区役所事業の円滑な推進を支援し、地域にもっとも身近な区役所の力が発揮できるようにします。

基本目標等を具体化する、主な事業・取組は、次ページをご覧ください。

1 元気で安全な地域づくり、絆・支え合い、協働の取組の推進

【主な事業・取組】	【内容】
● 元気な地域づくり推進事業	活動のきっかけづくりや人材の発掘・育成など、区とともに総合的に地域活動を支援し、様々な団体や人々が連携して、課題解決や魅力づくりに取り組む地域を広げていきます。
● 協働の「地域づくり大学校」事業	地域・区役所・中間支援組織が協働して企画・運営する大学校を開講し、地域で活動する区民と区職員が、共に学び合うことで、「協働による地域づくり」を推進します。
● 地域活動推進事業	地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築に向けて、自治会町内会活動を支援します。
● 市民協働の取組	「絆・支え合い条例」、「市民協働条例」の趣旨を踏まえ、協働を促進するため、シンポジウムの開催や、市民活動支援センターなどの相談機能を拡充します。
	市民の皆様や地域活動団体の自立した活動が進むよう、中間支援組織等のコーディネート力の向上や地域施設間の連携を促進します。
● 市民活動推進ファンド事業	市民活動団体の運営支援を行うため、NPO 法人の認定・指定法人化の促進や、よこはま夢ファンドを活用した資金面の支援を行います。また、ファンドの基金を活用した新たな支援策について検討します。
● 地域で取り組む防犯活動への支援	地域で協力して取り組む防犯活動への支援と、関係団体との連携による子どもの安全対策などを推進します。
● LED防犯灯設置事業の推進	自治会町内会が所有する電柱共架タイプの防犯灯約 11 万 7 千灯をESC0事業により省エネ効果の高いLED防犯灯に更新し、防犯環境整備を進めるとともに、自治会町内会の負担軽減を図ります。
● 区の立場に立った区役所支援の取組	区長会議等のサポートや地域ニーズ反映システム、区総務課業務の研修等により、年間を通じ、区役所を支援します。
● 区役所の機能強化への取組	地域支援機能の強化、子ども子育て支援新制度等への対応及び区の予算制度の充実など、区役所の機能強化を区役所とともに進めます。
	中間支援組織とは、市民・NPO・企業・行政等の間に立って、様々な活動に対して、コーディネートや相談・調整、情報提供等の支援を行う組織をいいます。(市民活動支援センター(市・区版)や地域ケアプラザ、社会福祉協議会などがこの機能を担っています。)

2 横浜の魅力・活力を高めるスポーツの振興

【主な事業・取組】	【内容】
● 地域スポーツ活動の支援	学校・地域関係団体等との連携・協働のもと、子どもから高齢者まで誰もが身近な地域で様々なスポーツを楽しむことができる活動を支援します。担い手となる地域のスポーツ指導者を養成・活用します。
● 次世代を担う子どもの体力向上事業	中休みや放課後を活用して定期的に運動に親しむ機会を提供します。
● 市民がスポーツに参加する機会の提供	市民参加型スポーツイベントの開催を通じ、市民の皆様がスポーツに親しむ機会を提供します。
● 「横浜マラソン 2015」の開催	「する、観る、支える」すべての人が楽しめる大会を目指し、27 年 3 月 15 日に開催します。
● 横浜の魅力を外内に発信するスポーツイベントの誘致・開催	世界トライアスロンシリーズ横浜大会(5月・山下公園周辺)やジャパンオープン・荻村杯 2014 国際卓球選手権横浜大会(6月・横浜文化体育館)など、大規模スポーツイベントの開催を通じて、スポーツを観戦する機会の増加やシティセールスの推進と地域経済の活性化を図ります。新たな大規模スポーツイベントを誘致し、開催を支援します。
● プロスポーツの支援	市民の一体感の醸成に寄与し、子どもたちに夢を与えるプロスポーツチー

- プールの見直し
- 神奈川スケートリンク再整備の支援
- 横浜文化体育館再整備の基本構想等の策定
- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた開催支援等のとりまとめ・東京大会開催を契機としたスポーツ振興

ムを支援します。

プールの利用促進、経営改善を図りつつ、今後のあり方を検討します。

スケート場の再整備に向けて、本市としての必要な支援等を行います。

横浜文化体育館の再整備に向けて、関係局と連携しながら、基本構想等を策定します。

庁内推進本部の運営を通じて、年度内に、2020年東京大会の成功等に向けた市の取組について、各区局と連携しロードマップを作成します。

オリンピック・パラリンピックの出場経験者との交流を通じ、より一層のスポーツ振興を図ります。

3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進

【主な事業・取組】

- 魅力ある窓口づくり推進事業
- 新たな証明発行サービス導入の検討
- 住居表示事業
- 社会保障・税番号制度対応事業
- 区庁舎等の再整備事業
- 区庁舎等の耐震性強化事業
- コミュニティハウス整備事業

【内容】

区役所の窓口水準の向上を図ります。

- ・区役所の窓口サービス評価の実施
- ・戸籍課人材育成計画(25年3月策定)に基づく研修等の実施

コンビニエンスストアでの住民票等の証明発行サービス導入の検討を進めます。

住所の分かりにくさを解消するため、住居表示を実施します。

- ・泉区和泉町第三次地区の円滑な実施(10月)
- ・今後の住居表示地区の検討

個人番号通知と個人番号カード交付(27年度)に向けた準備を進めます。

- ・住民記録システムの特定個人情報保護評価の実施
- ・住民記録システムの改修

区庁舎の建て替え再整備を行います。

- ・南・港南・金沢(工事)
- ・旧戸塚区庁舎(解体完了)

既存区庁舎等の耐震性強化を行います。

- ・中(旧労働基準局 2月しゅん工)、
- ・緑(仮設分庁舎 7月しゅん工、区庁舎 耐震補強工事着工、市民活動支援センター 7月しゅん工)

地域活動や交流の拠点となる、コミュニティハウスの整備を行います。

- ・荏田西(実施設計)、常盤台(土地買替)

4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進

【主な事業・取組】

- 横浜市人権施策の推進
- 犯罪被害者等相談支援事業
- 男女共同参画推進事業

【内容】

様々な機会を通じて市民の皆様や企業及び職員へ「横浜市人権施策基本指針」を周知し、市民団体や各区局と協力・連携して、人権施策を推進します。

「横浜市人権啓発推進計画」に基づき、ハラスメント、いじめ、拉致被害者の問題など様々な人権課題について理解が深まるよう、市民の皆様への啓発活動及び職員の人権啓発研修を進めます。

犯罪被害者相談室において、相談者に寄り添い、再び平穏な生活を営めるよう関係団体と連携しながら相談・支援を行います。犯罪被害者等の状況や心情を理解し、人権課題として適切な支援を行えるよう、講演会や研修を通じて市民の皆様や職員等への普及啓発を進めます。

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる分野に対等に参画できる社会を目指して、施策を推進します。

- ・働く女性応援プログラム
働く女性のキャリア形成やネットワークづくり等の支援、キャリア教育プログラムなどを、企業や大学等との連携により推進し、横浜で活躍できる女性の人材育成を進めます。また、再就職を希望する女性を対象にしたニーズ基礎調査、再就職支援講座などを試行実施し、女性の活躍推進に向けた支援の基礎とします。
- ・よこはまグッドバランス賞
男女がともに働きやすく、子育て・介護がしやすい職場づくりを積極的に進める市内中小企業等を認定し、他の事業所への普及啓発を行います。
- ・女性に対する暴力の根絶に向けた事業
DV相談支援センターの周知や、暴力防止のための啓発キャンペーン(11月)を実施します。若い世代から暴力を防止するため、若者向けデートDV予防教材の活用を働きかけるほか、若者向け啓発写真展の実施等、若者の心に届く発信をします。
- ・国際的な連携と情報発信
世界各国の男女共同参画施策の動向把握、情報交換、連携を図るとともに、横浜市の取組を国際社会に効果的に発信します。

5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

【主な事業・取組】

- インターネット広報事業
- 「広報よこはま」発行事業
- PR活動推進事業
- 広聴事業
- 横浜市コールセンター事業
- 情報公開制度の適正・円滑な運用
- 個人情報保護施策の推進

【内容】

市ウェブサイト为谁にでも使いやすく、分かりやすいものに再構築します。あわせて、政策局・総務局と進めているオープンデータにも対応します。

毎月1日、「広報よこはま」市版を発行します。

市の施策や事業等について、市民の皆様により深くお伝えできるよう、魅力ある充実した紙面づくりを行います。

市内外の皆様により本市の施策や魅力について知っていただくため、マスメディアに向けたメディアツアーなどの広報活動を推進します。

「広報よこはま」から記事をピックアップした動画番組を作成するなど、「動画」を活用した広報を強化します。

「市民からの提案」制度や、市長の「ティーミーティング」「ぬくもりトーク」、「ヨコハマeアンケート」などさまざまな事業を通して市民の声を幅広く受け止め、市政に反映します。

市政や市営交通の案内、生活情報など市民からの多様な問合せを朝8時から夜9時まで年中無休で受け付けます。

区役所の代表電話交換業務を代行します。

研修や情報提供、所管課との協議を通じて、制度に関する職員の理解を深めていきます。

審査会では不服申立案件を迅速・適正に処理します。

研修や実地調査等を通じて職員による個人情報の適正な取扱いを推進するとともに、市民・事業者等が制度を正しく理解し、保護と利用のバランスに留意した個人情報の取扱いができるよう、情報提供を行います。

窓口等における個人情報の不正聞きだし防止のため、個人情報の照会に関して適正な応答ができるよう、全庁的な取組を推進します。

社会保障・税番号制度への対応として、マイナンバー法及び国の指針に基づき、「特定個人情報保護評価」(第三者点検)の実施など、全市での円滑な導入のための準備を着実に進めます。